ConMas Designer
ネットワーク / カーボンコピー
操作説明書

2024/12/10

© CIMTOPS Corporation.

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2012/11/02	--	--	初版を発行しました。
2013/04/23	V3.0	--	ネットワーク設定の複数削除に関して追記。
		--	チェックグループのネットワークについて記載。
		--	バリューリンク設定画面レイアウトを変更。
		--	カーボンコピー設定の複数削除に関して追記。
2013/08/30	V3.1	--	カーボンコピーが使用可能なクラスター種別に関して追記。
2014/03/06	V3.2	--	後続クラスターのインプット部品を自動表示する設定に関して追記。
2016/01/12	V5.1.6172	--	ネットワーク制限設定に関して追記。
2016/02/02	V5.1.6278	--	後続クラスターの自動入力機能について追記。
2016/07/29	V5.2.16070	P13-14	先行クラスターがチェッククラスターの場合について追記。
		P42	カーボンコピー先の編集可否について追記。
2016/09/01	V5.2.16080	P20-21	マスター選択デフォルト検索値設定について追記。
2017/10/05	V6.0	P15	Windows版未対応であることを追記
2018/02/07	V6.0	P43	カーボンコピー先の編集可否の一括変更について追記。
2018/04/03	V6.0	P25-38	ネットワークのコピー/ペースト機能について追記。
2018/04/05	V6.0	P22	マスター選択デフォルト検索値設定の制限
2018/08/01		P45	「クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー」を追記。
2018/10/19	V6.2	P10	後続クラスターのインプット部品を自動表示しない場合について追記。

© CIMTOPS Corporation.

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2018/11/5	V6.2	P28	ネットワークのコピーとペースト時のクラスターの選択方法を追記。
		P30	ネットワーク一覧からのネットワークコピーを追記。
		P32	ネットワークペースト（先行または後続クラスターが１つの場合）を追記。
		P34	ネットワーク一覧からのネットワーク設定ペーストを追記。
2018/11/6	V6.2	P16	先行承認クラスターの場合の後続クラスターの自動入力機能について、Windows版の動作を追記。
2019/1/7	V6.2	P22	Windows版におけるマスター選択デフォルト検索値設定の制限について追記
2019/3/19	V6.2	P26	バリューリングにて先行クラスターを選択後、後続クラスターの項目が1つであった場合の動作を追記
2019/7/16	V6.2	P45	計算式を利用したEXCELファイル上でのカーボンコピー設定を追記
2020/12/22	V8.0.20120	P13	「先行クラスターが同一グループIDのチェッククラスターの場合」の設定が表示される条件を変更しました。
2021/3/22	V8.0.21020	P45を追加	カーボンコピーの制限 ２．カーボンコピーが動作するタイミング を追記。
2024/1/18	V8.1.23100	P.31	ネットワークペーストの条件を追記。
2024/12/10	--	P.12,17	先行が承認クラスターの場合についてを追記。

© CIMTOPS Corporation.

目次

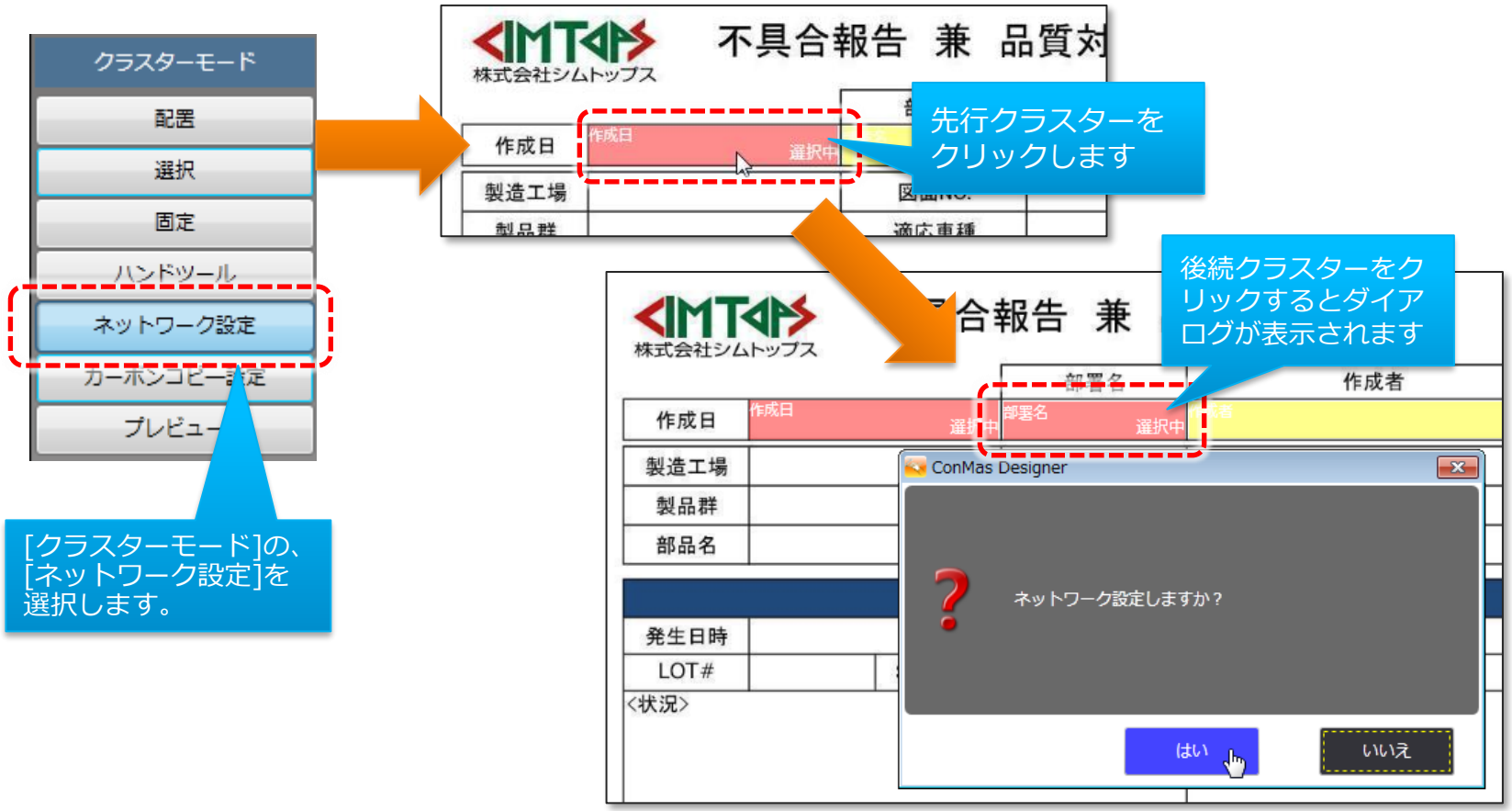
- ネットワークの設定 5
- ネットワークの制限設定 8
- ネットワークによる入力制御 9
- 後続クラスターのインプット部品を自動表示 10
- チェックグループのネットワーク 12
- 先行クラスターがチェッククラスターの場合 13
- 後続クラスターの自動入力 15
- 大小比較の設定 18
- マスター選択デフォルト検索値設定 20
- マスター選択デフォルト検索値設定の制限 22
- ネットワークの入替え 23
- バリューリンクの設定 24
- ネットワークのコピーとペースト 27
- ネットワークのコピーとペースト時のクラスターの選択方法 28
- ネットワークコピー 29
- ネットワーク一覧からのネットワークコピー 30
- ネットワークペースト 31
- ネットワークペースト（先行または後続クラスターが１つの場合） 32
- ネットワーク設定ペースト 33
- ネットワーク一覧からのネットワーク設定ペースト 34
- ネットワーク削除 38
- カーボンコピーの設定 39
- カーボンコピーの編集可否 42
- カーボンコピーの編集可否の一括変更 43
- カーボンコピーの制限 44
- 計算式を利用したEXCELファイル上でのカーボンコピー設定 46
- クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー 48

© CIMTOPS Corporation.

ネットワークの設定

ネットワークを設定する

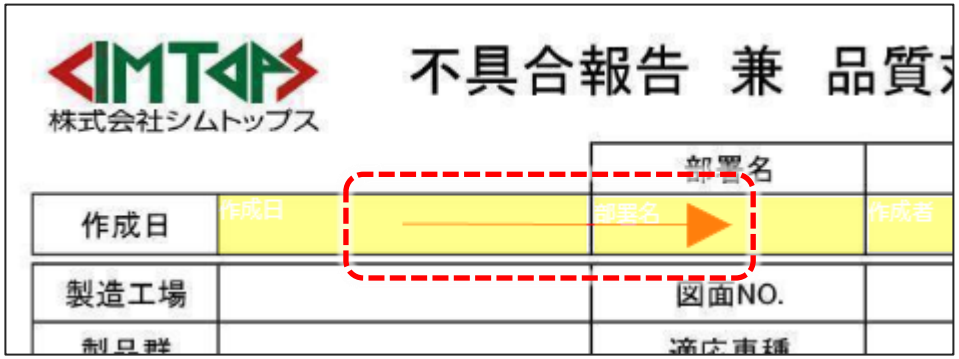
- ネットワーク設定では、2つのクラスターを「先行」「後続」として設定し、ネットワークで結ぶことができます。ネットワークは入力順番の制御、入力値の連動などに利用されます。



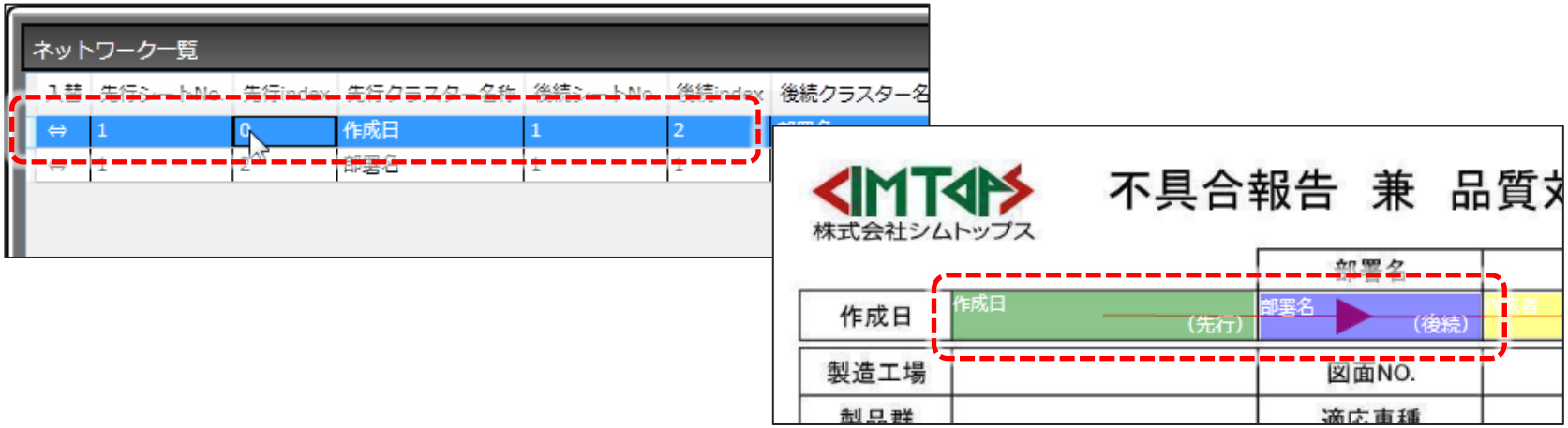
© CIMTOPS Corporation.

ネットワークの設定

- ネットワークが設定され、ネットワーク線が表示されます。



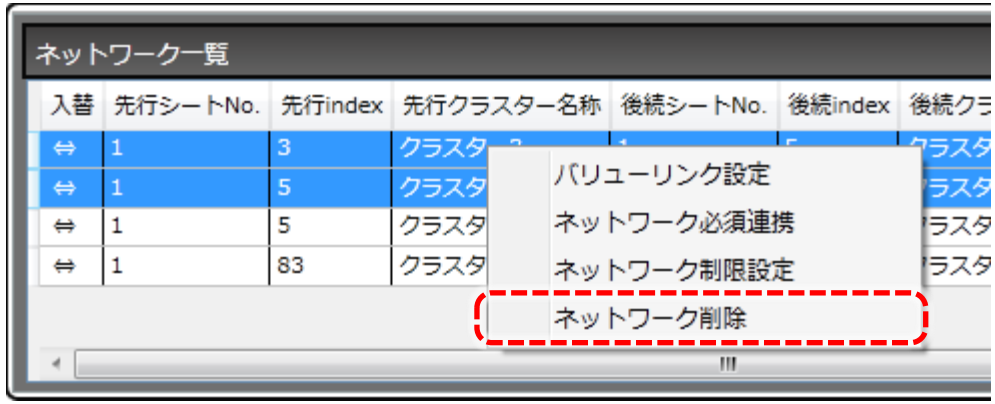
- [ネットワーク設定]ツールを選んでいる間は、クラスター一覧が「ネットワーク一覧」になります。一覧には、ネットワーク線の先行/後続などの情報が表示されます。
- 一覧から、作成したネットワークの行をクリックで選択すると、編集画面でクラスターの色が変わり、先行/後続のクラスターを強調表示します。



© CIMTOPS Corporation.

ネットワークの設定

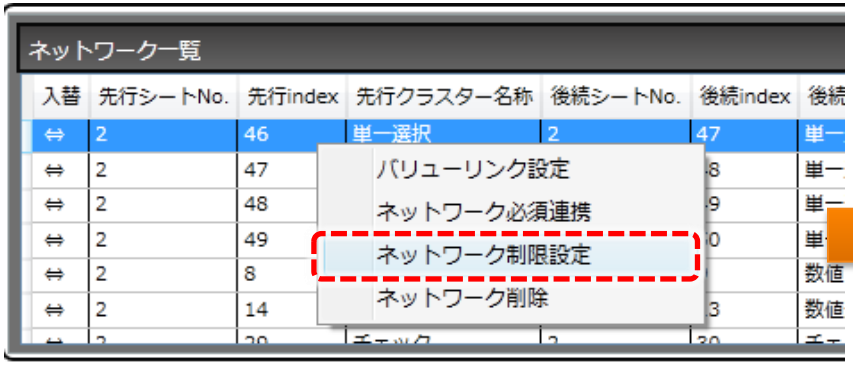
- 任意の行で右クリックメニューから、ネットワーク設定を削除できます。
  複数行を選択して一括削除することもできます。

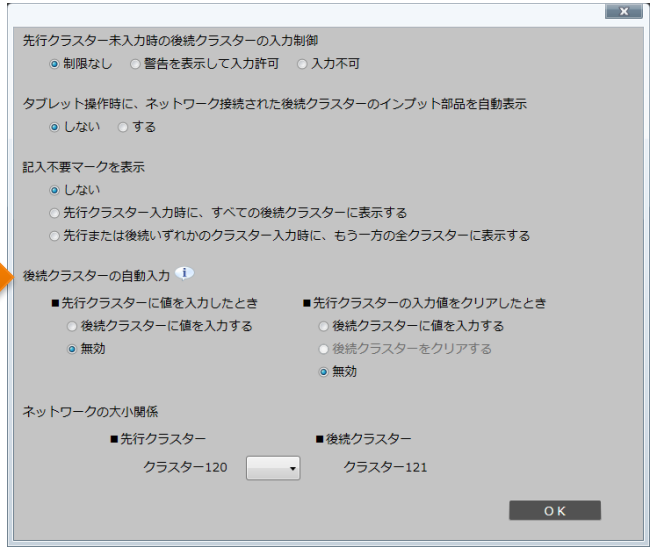


© CIMTOPS Corporation.

ネットワークの制限設定

- ネットワークによる入力・表示制御を設定するには、一覧から、対象のネットワーク行の上で右クリックメニューを表示して、[ネットワーク制限設定]を選択します。





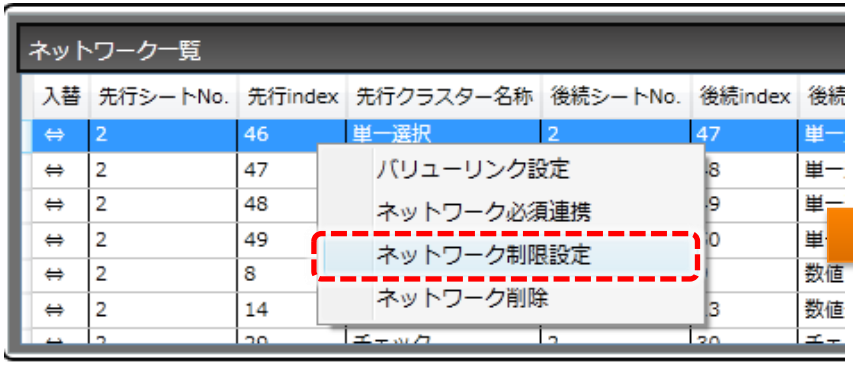
- [ネットワーク制限設定]では、以下の設定を行います。
  1. ネットワークによる入力制御
  2. 後続クラスターのインプット部品を自動表示
  3. 記入不要マーク表示
  4. 後続クラスターの自動入力
  5. ネットワークの大小関係

[3.記入不要マークの表示]についての詳細はマニュアル『未入力クラスターへの記入不要マーク表示機能操作説明書』を参照下さい。

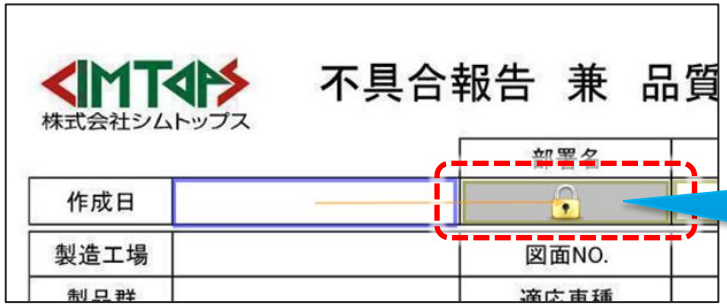
© CIMTOPS Corporation.

ネットワークによる入力制御

- ネットワークに入力制御を設定するには、一覧から、対象のネットワーク行の上で右クリックメニューを表示して、[ネットワーク制限設定]を選択します。



- **入力許可**：ネットワークを表示しますが、後続クラスターには通常通り入力できます。
- **警告を表示して入力許可**：先行クラスターが空の時に、後続クラスターはグレーで表示され、入力しようとすると、「前の入力項目が入力されていません。本当に入力しますか？」というダイアログが表示されます。
- **入力不可**：先行クラスターが空の時に、後続クラスターには鍵マークが表示され、先行クラスターが入力されるまで後続クラスターへの入力はできません。

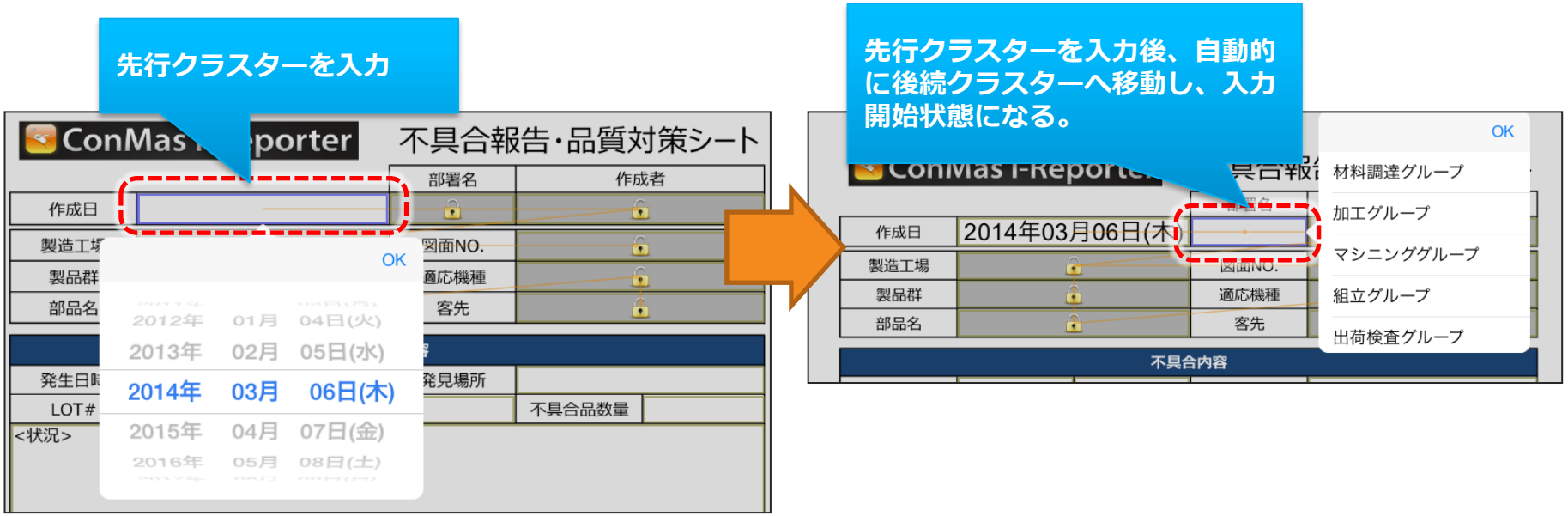


入力不可の場合の表示。
鍵マークがついていて、先行クラスターを入力するまでロックされています

© CIMTOPS Corporation.

後続クラスターのインプット部品を自動表示

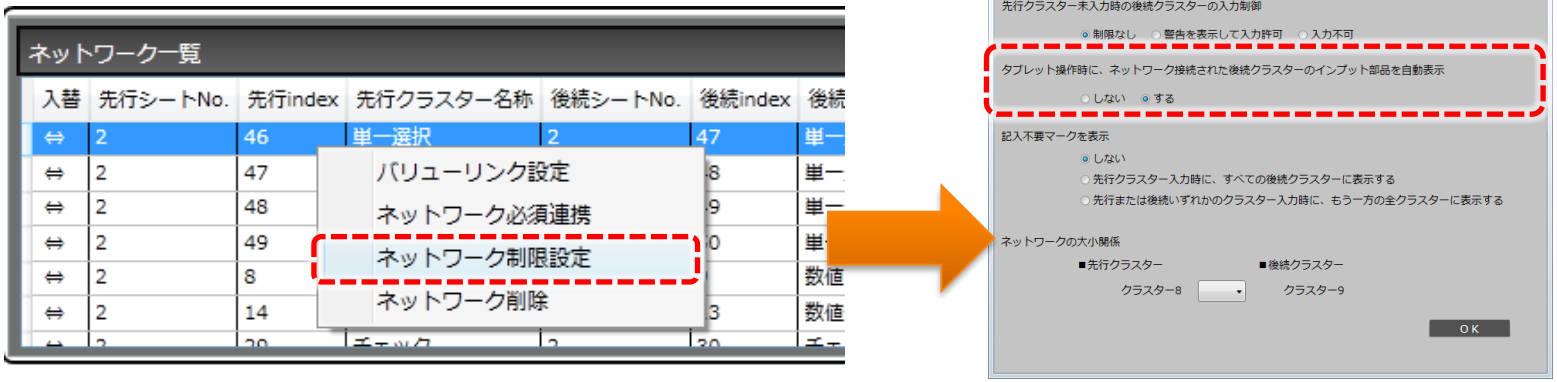
- ネットワーク接続されたクラスターに関して、タブレット操作時に、先行クラスターの入力を終えた後、自動で後続クラスターに移動し、後続クラスターを入力開始状態にすることができます。
（トグル選択クラスターなど、入力完了タイミングを特定できないクラスターが先行の場合は、動作しません。）



© CIMTOPS Corporation.

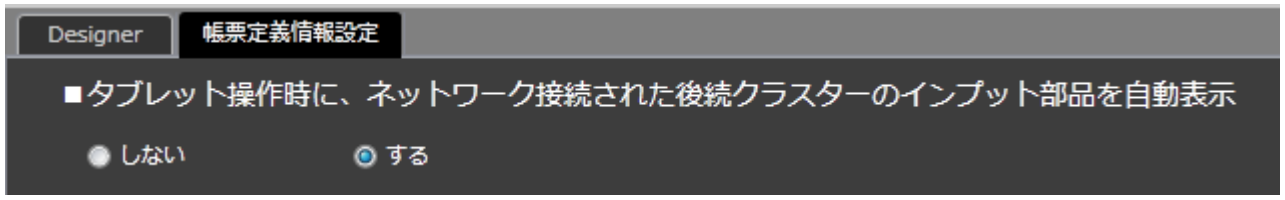
後続クラスターのインプット部品を自動表示

- 自動で後続クラスターを入力開始状態に設定するには、一覧から、対象のネットワーク行の上で右クリックメニューを表示して、[ネットワーク制限設定]を選択します。



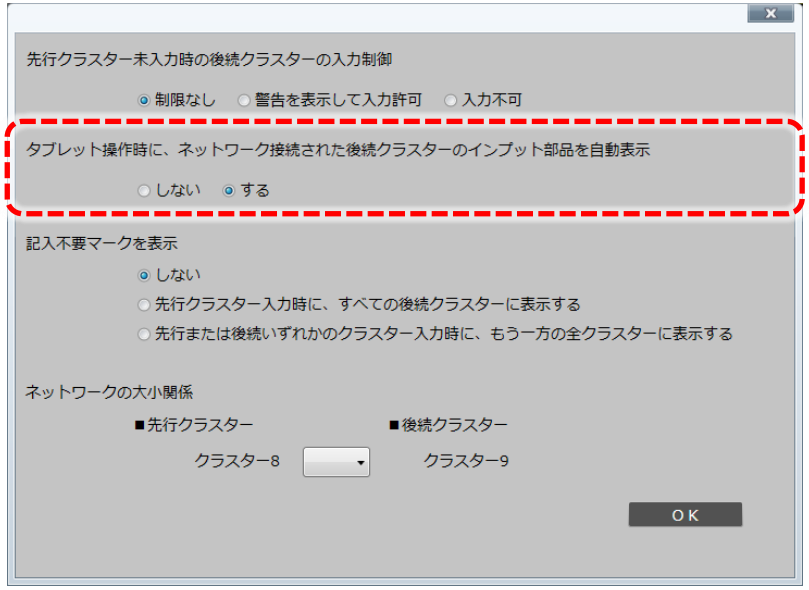
- 「タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスターのインプット部品を自動表示」にて、「する」を選択する事で、自動で後続クラスターを入力開始状態にする設定となります。
  ※デフォルトは「する」設定となります。

- また、「帳票定義情報設定」タブ画面にも同様の設定があります。
帳票定義単位で「しない」を設定した場合、ネットワーク単位で「する」を設定をしていても無効となり、すべてのネットワークにおいて、自動で後続クラスターを入力開始状態には「しない」設定となります。帳票定義単位で「する」を設定した場合にのみ、ネットワーク単位での「する」設定が有効となります。



© CIMTOPS Corporation.

先行クラスターが承認クラスターの場合



- ネットワークで繋いだ先行クラスターが承認クラスターで、かつ、ネットワーク制限設定の「タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスターのインプット部品を自動表示」が「する」に設定されている場合、i-Reporterアプリでは以下の通り動作します。

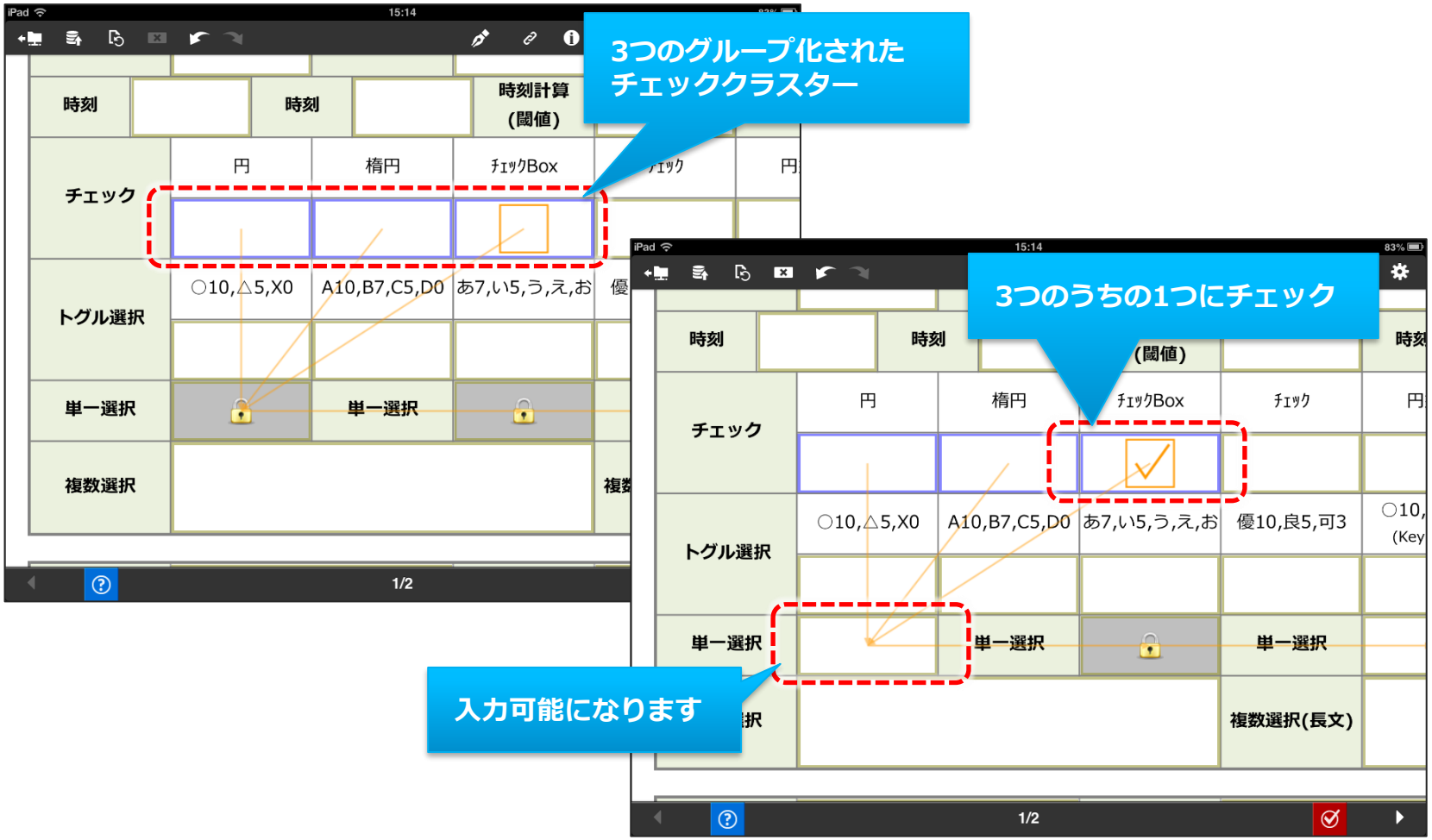
【iOS版 i-Reporter】
「申請」、「承認」、「差し戻し」時に後続クラスターに値が入力されます。

【Windows版 i-Reporter】
「申請」、「承認」時に後続クラスターに値が入力されます。

© CIMTOPS Corporation.

チェックグループのネットワーク

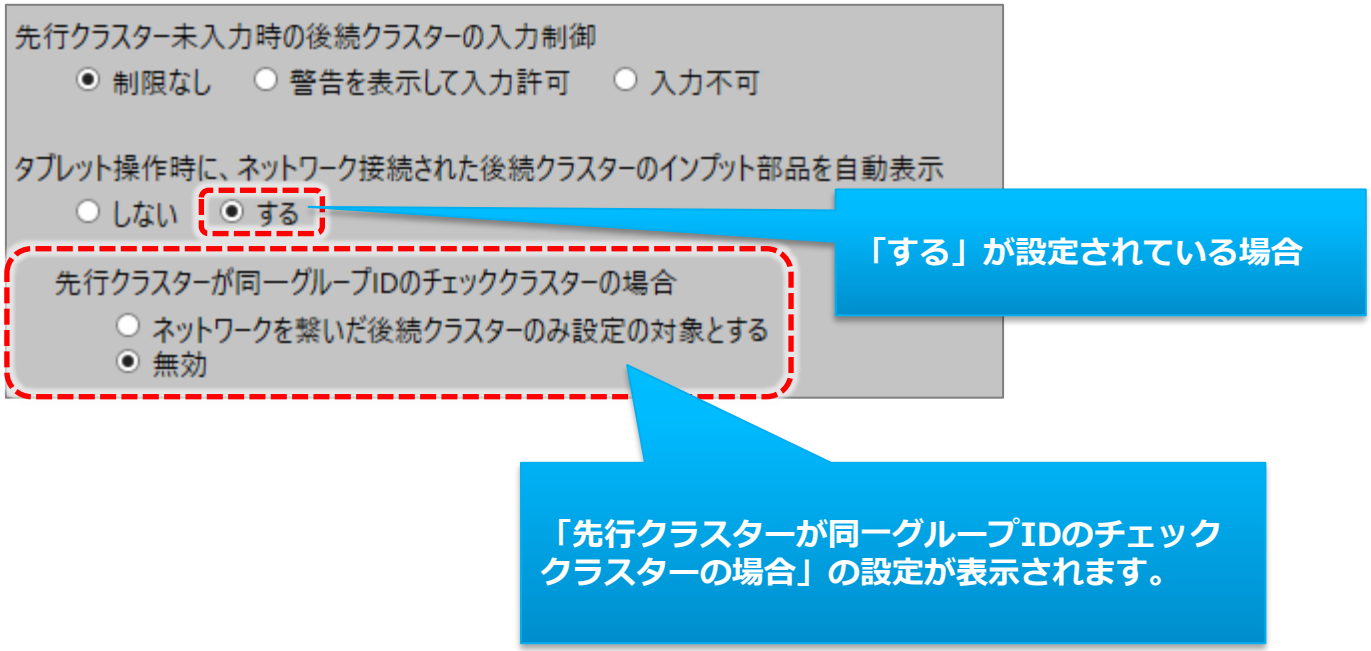
- 先行が、グループ設定されたの複数のチェッククラスターの場合は、そのうちのどれか一つがチェックされれば後続のクラスターを入力できます。



© CIMTOPS Corporation.

先行クラスターがチェッククラスターの場合

- ネットワークで繋いだ先行クラスターがチェッククラスターで、かつ、ネットワーク制限設定で「タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスターのインプット部品を自動表示」が「する」に設定されている場合、「先行クラスターが同一グループIDのチェッククラスターの場合」という設定が表示されます。

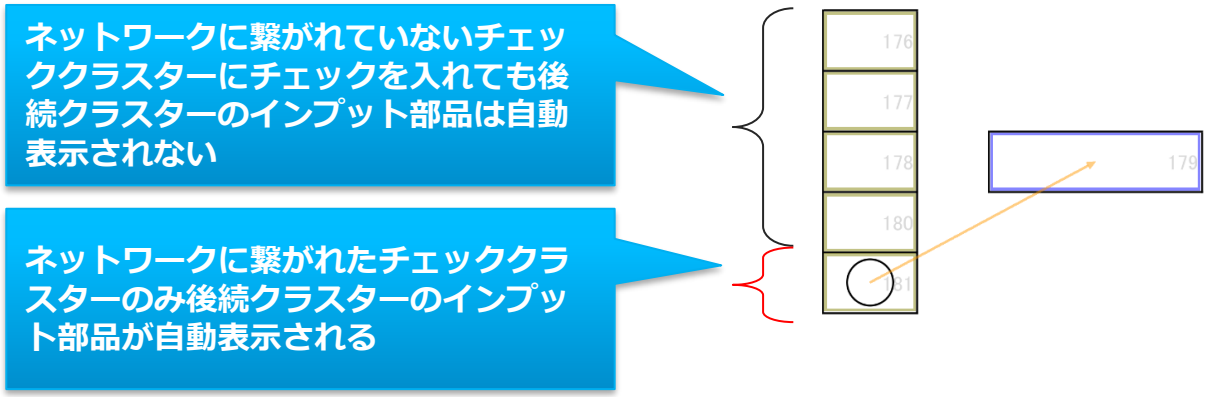


© CIMTOPS Corporation.

先行クラスターがチェッククラスターの場合

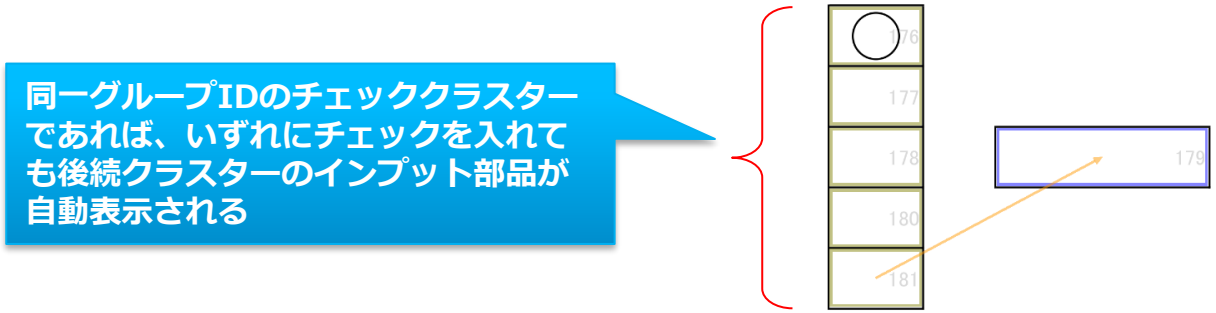
- **ネットワークを繋いだ後続クラスターのみ設定の対象とする**

  同一グループIDのチェッククラスターのうち、実際にネットワークで繋がれたチェッククラスターにチェックを入れた場合のみ、後続クラスターのインプット部品が自動表示されます。



- **無効**

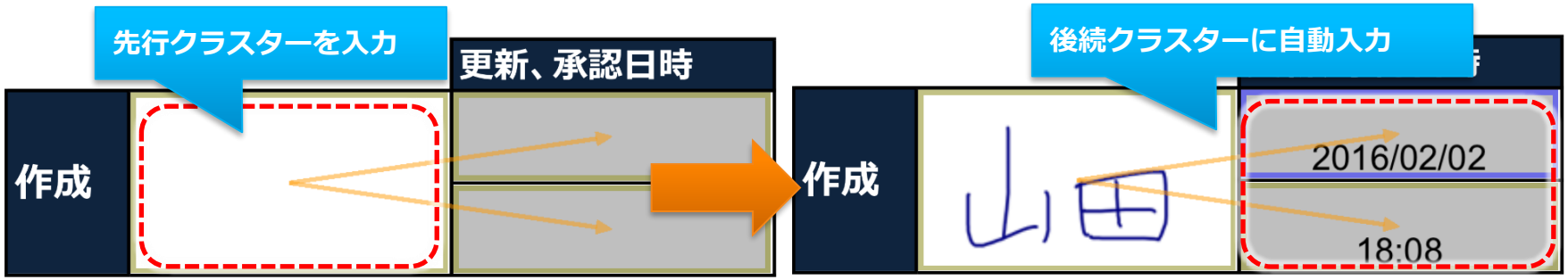
  同一グループIDのチェッククラスターのうち、１つでもネットワークで繋がれたチェッククラスターがあれば、いずれかのチェッククラスターにチェックを入れた場合に、後続クラスターのインプット部品が自動表示されます。（V5.1以前と同様の動作になります）



© CIMTOPS Corporation.

後続クラスターの自動入力

- ネットワーク接続されたクラスターに関して、先行クラスターの入力を終えた後、後続クラスターに自動的に値を入力します。
- 自動入力される内容はクラスター種別ごとに設定されています。
- 設定された後続クラスターは読取専用となり、手入力による変更はできなくなります。



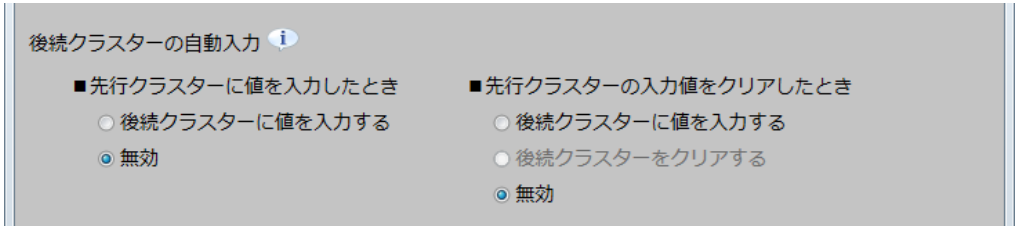
- 入力対象になる後続クラスターの種別と入力値
  - 年月日 → 入力した時点の日付
  - カレンダー年月日 → 入力した時点の日付
  - 時刻 → 入力した時点の時刻
  - ログインユーザー → 入力したユーザー
  - チェック → ON

※ 帳票登録年月日のように、先行クラスターが自動入力されるクラスターの場合、設定は無効になります。

© CIMTOPS Corporation.

後続クラスターの自動入力

- 自動で後続クラスターを入力開始状態に設定するには、一覧から、対象のネットワーク行の上で右クリックメニューを表示して、[ネットワーク制限設定]を選択します。



- 先行クラスターに値を入力したとき
  - 後続クラスターに値を入力する：先行クラスターを入力した時点の情報を、後続クラスターに自動的に入力します。
  - 無効（規定値）：自動入力を行いません。

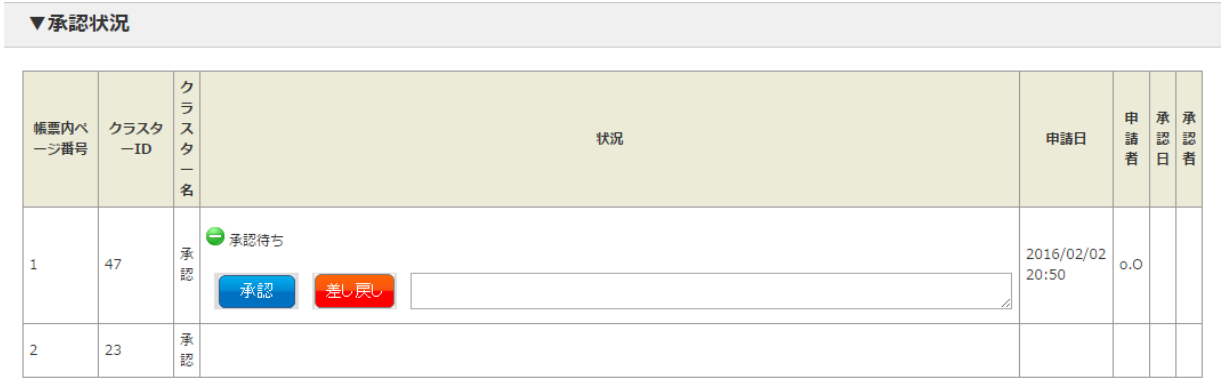
※先行が承認クラスターの場合、「承認」時に後続クラスターに値が入力されます。

- 先行クラスターの入力値をクリアしたとき
  - 後続クラスターに値を入力する：先行クラスターをクリアした時点の情報を、後続クラスターに自動的に設定します。
  - 後続クラスターをクリアする：後続クラスターの入力値を自動的にクリアします。
  - 無効（規定値）：自動入力を行いません。

© CIMTOPS Corporation.

後続クラスターの自動入力

- 先行クラスターの種別が承認のときは、Managerからの承認時も後続クラスターへの入力が行われます。
  - 入力帳票管理 – 承認状況画面



  - 入力帳票一覧 – 一括承認画面

© CIMTOPS Corporation.

大小比較の設定

数値、数値選択、または年月日と時刻には大小比較を設定できます

- 数値と数値選択クラスターの組合せ、または年月日同士、時刻同士のクラスターに設定できます。

- この例では「生産数量は、検査数量以上となる」とします。
- ネットワーク一覧で、該当の行の右クリックメニューから「ネットワーク制限設定」を選択します。

© CIMTOPS Corporation.

大小比較の設定

- 大小比較を設定できる組合せであれば、「ネットワークの大小関係」という設定が下段に表示されます。

- 先行と後続の間にあるプルダウンメニューから、設定したい条件を選んで「OK」をクリックします。

© CIMTOPS Corporation.

マスター選択デフォルト検索値設定

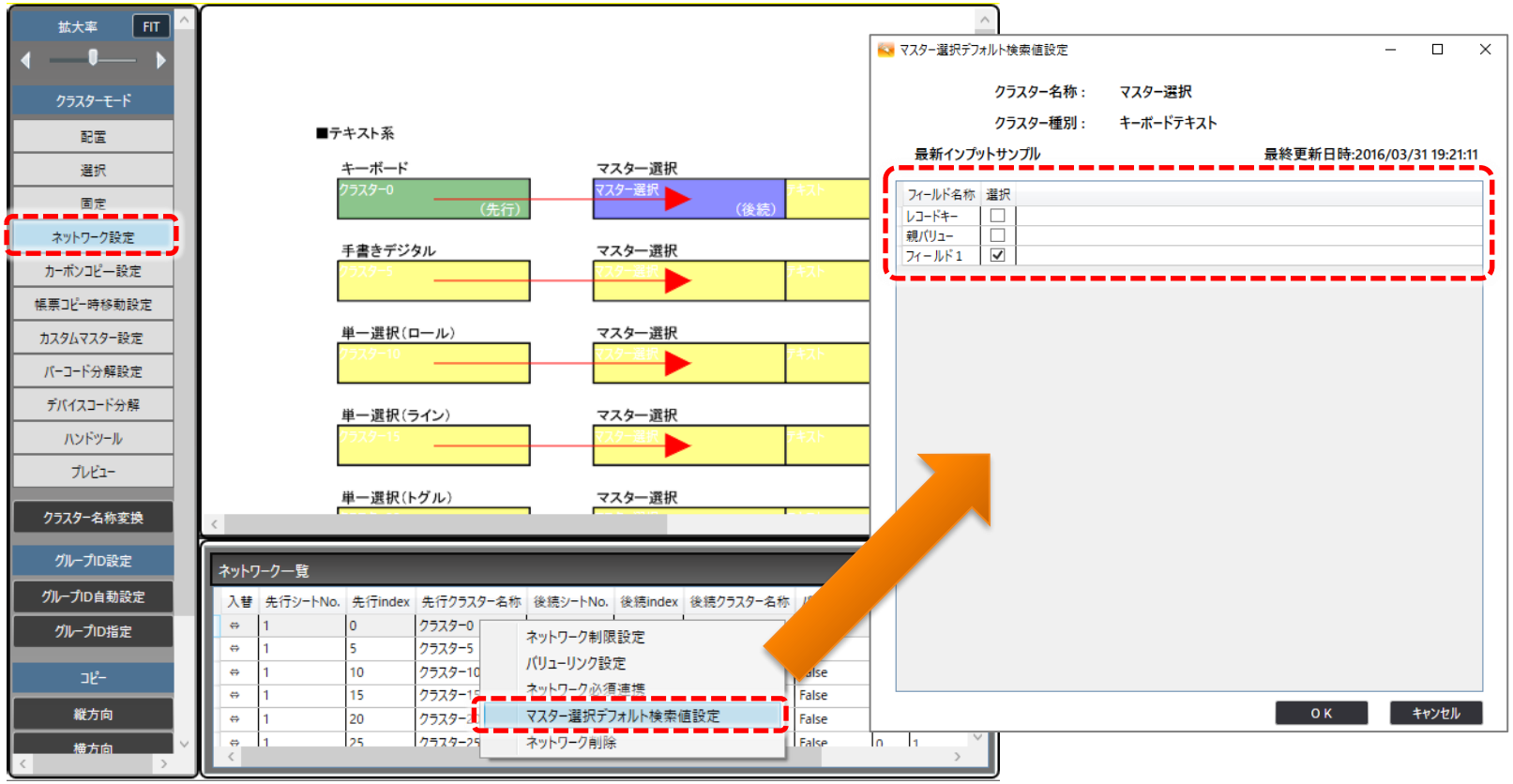
ネットワークで繋いだ先行クラスター（複数可）の入力値が、
後続となるマスター選択クラスターのフィールド検索デフォルト値となり、
検索を実行した状態でマスターデータを表示できます。

- 下記の例では、キーボードテキストクラスターへ”TEXT1”という文字列を入力後、マスター選択クラスターをタップすることで、フィールド1の検索値を”TEXT1”とした検索結果がデフォルト表示されています。

© CIMTOPS Corporation.

マスター選択デフォルト検索値設定方法

- マスター選択クラスターの検索値のデフォルト値にしたいクラスターを先行とし、マスター選択クラスターを後続としたネットワークを設定します。「ネットワーク一覧」から該当のネットワーク設定を選択した状態で右クリックメニューから「マスター選択デフォルト検索値設定」を実行し、マスター選択クラスターに設定されているカスタムマスターデータの内、どのフィールドの検索値として使用するかをチェックを付けて設定します。



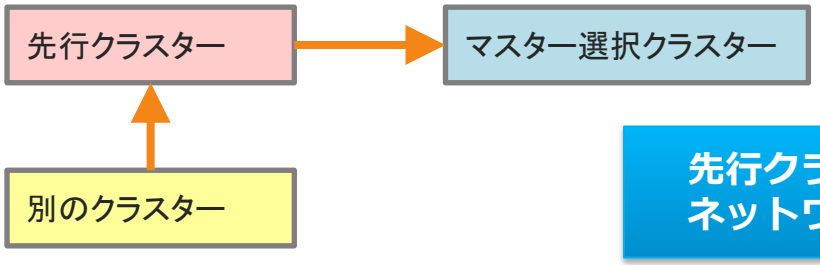
© CIMTOPS Corporation.

マスター選択デフォルト検索値設定の制限

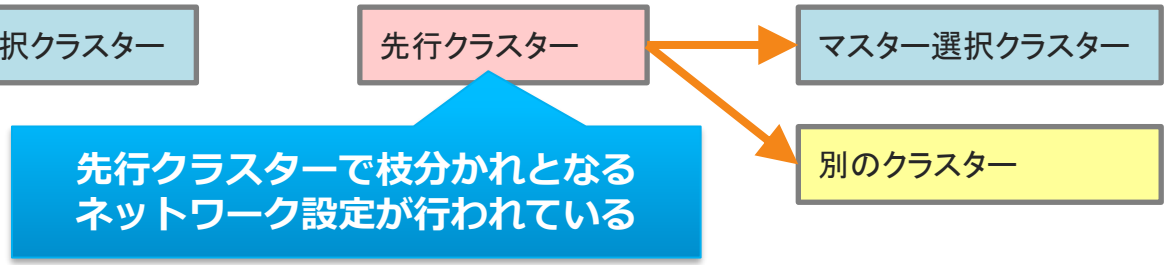
マスター選択デフォルト検索値設定が行われているネットワークの先行クラスターが、別のネットワークの先行クラスターでもある場合、（つまり、先行クラスターで枝分かれになるネットワーク設定が行われている場合）、「後続クラスターのインプット部品を自動表示」の設定が不可となります。

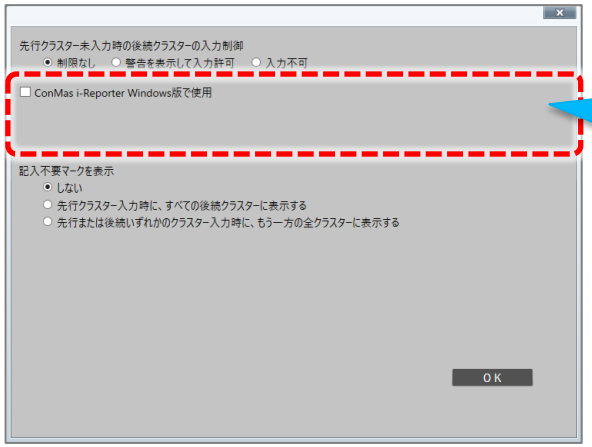
※ iOS版における制限となります。

- 制限を受けません



- 制限を受けます





制限を受ける場合、
「後続クラスターのインプット部品を自動表示」
の設定が表示されず自動でOFFの設定になりますが、
「ConMas i-Reporter Windows版で使用」
にチェックを入れることで設定が可能になります。

© CIMTOPS Corporation.

ネットワークの入替え

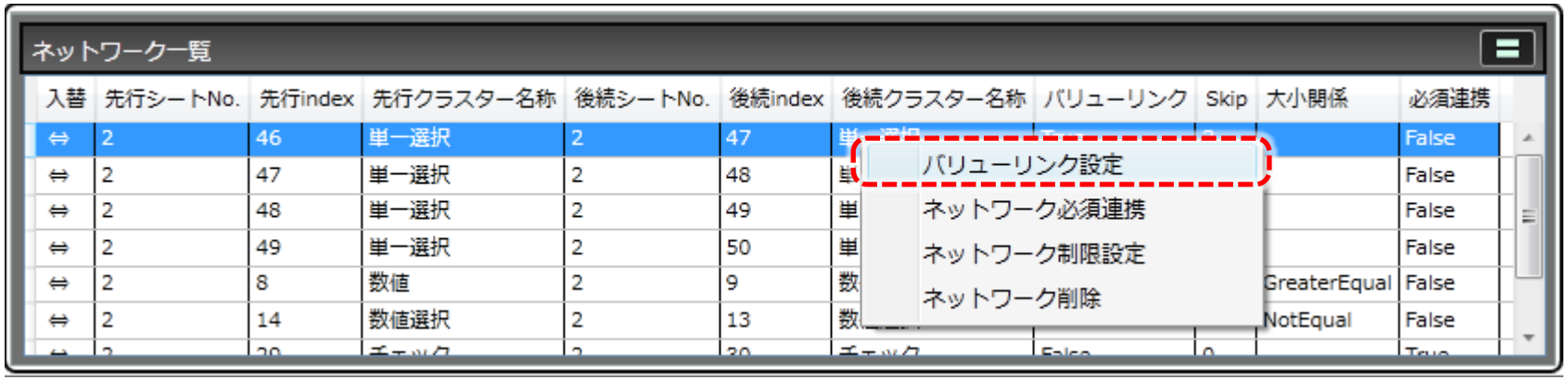
- 一度設定したネットワークは、一覧の[入替]列の矢印をダブルクリックすると、方向を逆転することができます。

© CIMTOPS Corporation.

バリューリンクの設定

ネットワークを設定するとバリューリンクの設定が可能になります

- バリューリンク設定では、単一選択、複数選択のクラスターを対象に、先行の選択値で後続の選択可能な値を絞り込んで表示することができます。一覧の右クリックメニューから、[バリューリンク設定]を選択します。

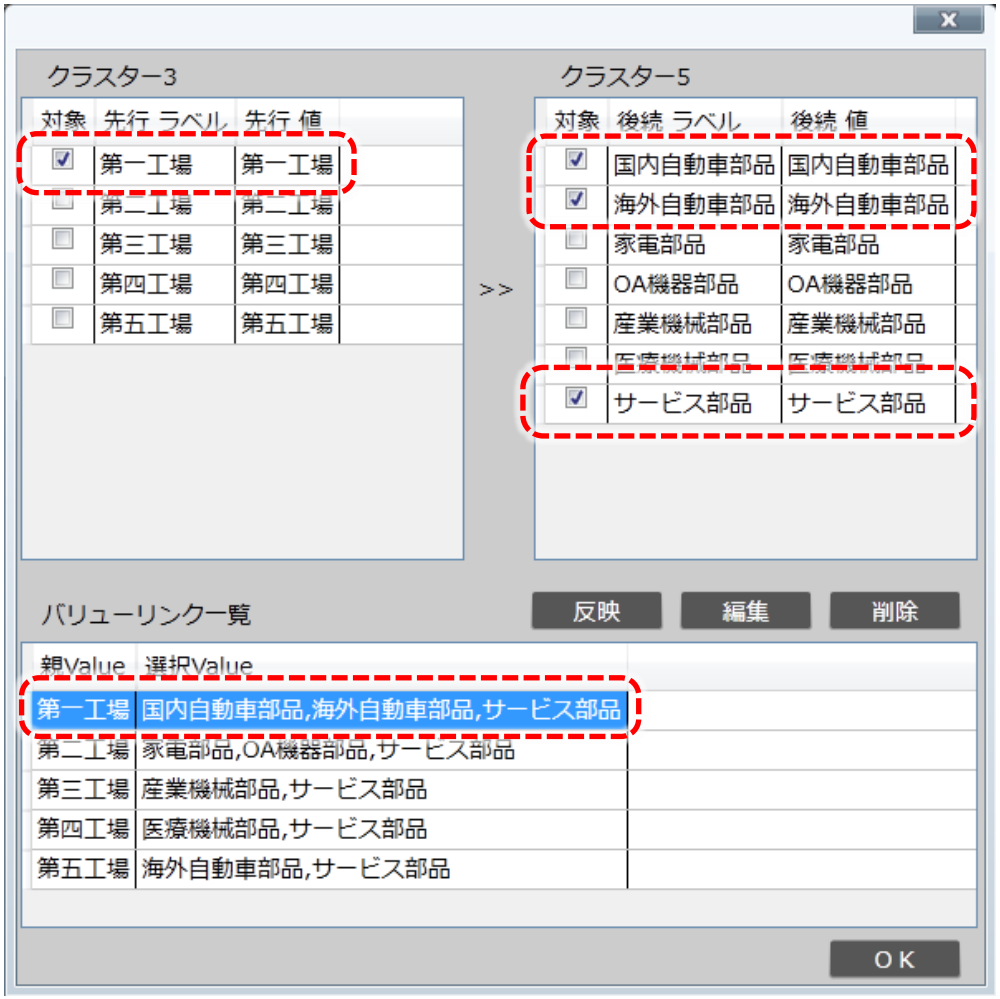


© CIMTOPS Corporation.

バリューリンクの設定

先行と後続の対応する要素をチェックします

- 左に先行クラスター、右に後続クラスターの項目が表示されます。
- 右の例では、先行の「第一工場」を選択した場合、後続の選択肢は「国内自動車部品」「海外自動車部品」「サービス部品」のみが表示されます。
- 対応する項目にチェックをつけて、[反映]ボタンを押すと、下段の[バリューリンク一覧]に、[親（1項目）,子（n項目）]として保存されます。
- 項目を変更するには一覧から項目を選択して[編集]を、削除するには[削除]を選択します。



© CIMTOPS Corporation.

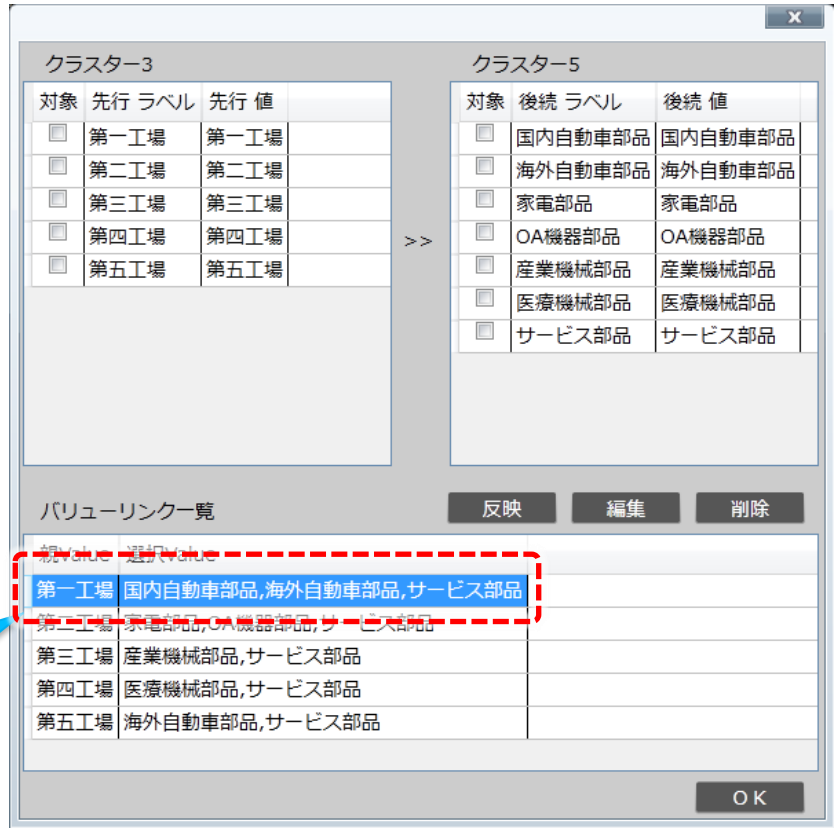
先行クラスターを複数選択して反映した場合

- 先行クラスターを複数選択して反映した場合、先行の各項目は別々の親Valueとして保存されます。
- 例えば、この設定で先行の第一工場と第二工場をチェックして、後続の「国内自動車部品」「海外自動車部品」「サービス部品」をチェックして反映すると、次のようにそれぞれ保存されます。大二工場の設定は上書きとなります。

第一工場	国内自動車部品,海外自動車部品,サービス部品
第二工場	国内自動車部品,海外自動車部品,サービス部品

- バリューリンクを解除するには、ネットワークごと削除するか、バリューリンク設定の一覧から全ての項目を削除してください。
- 先行クラスターで項目を選択後、後続クラスターの項目が1つの場合、後続クラスターに値が自動でセットされます。※iOS版のみ対応

親Valueと選択Valueの組合せは1パターンのみとなります。

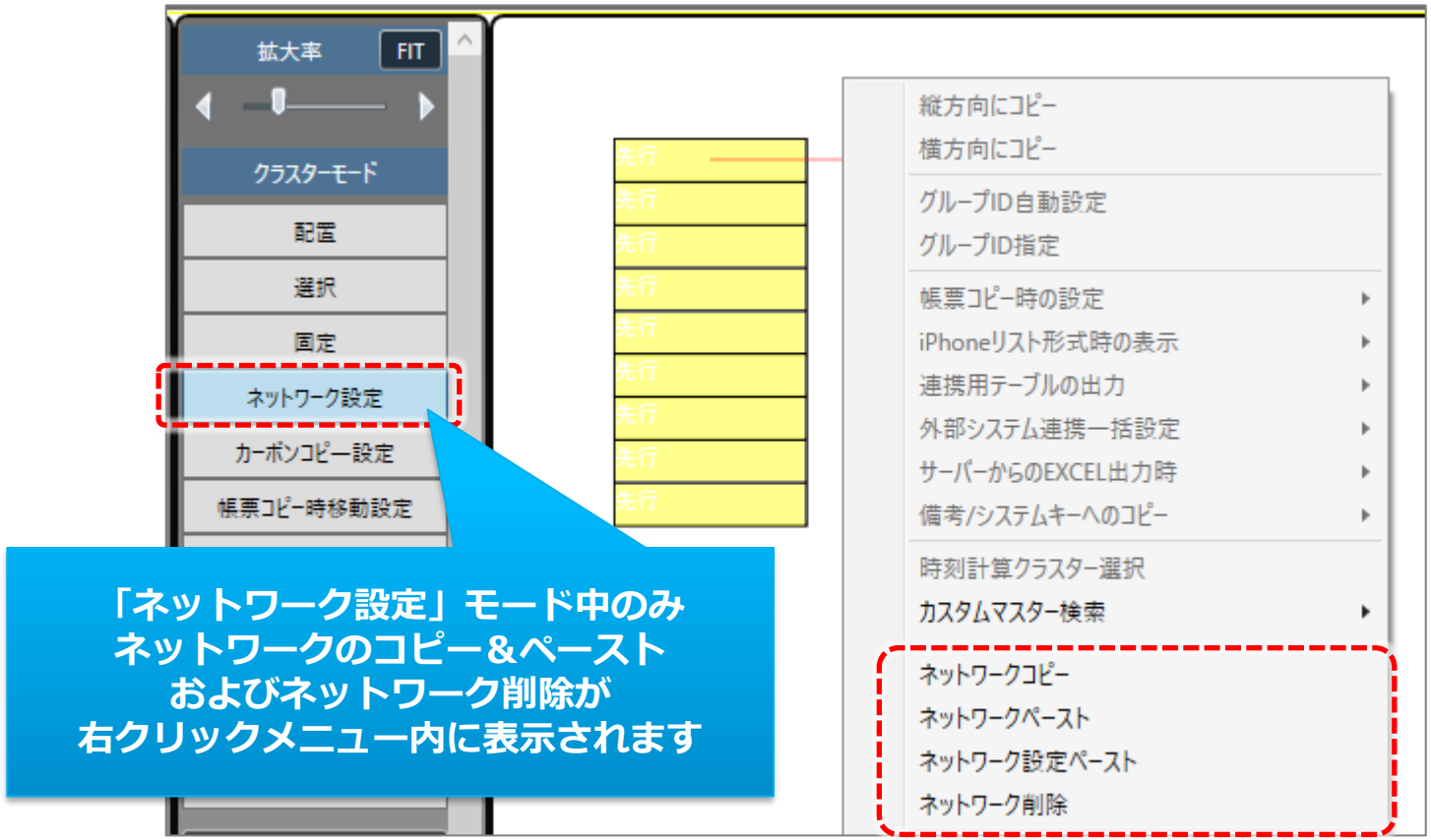


© CIMTOPS Corporation.

ネットワークのコピーとペースト

「ネットワーク設定」モード中、編集画面の右クリックメニューから
ネットワークのコピー＆ペーストおよび削除が可能です。

※ネットワークのコピー＆ペーストは、先行クラスターと後続クラスターが同一シート内に
存在するネットワークに対して有効となります。



© CIMTOPS Corporation.

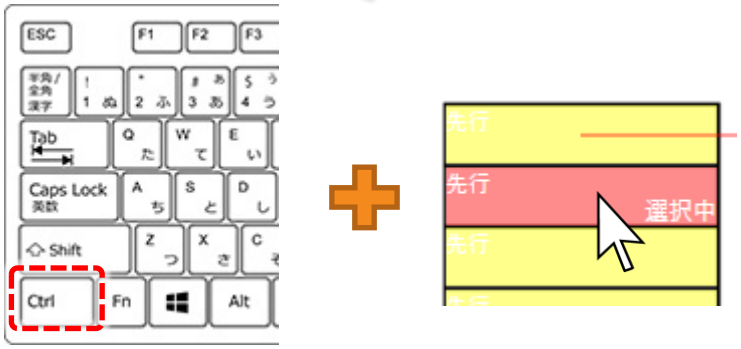
ネットワークのコピーとペースト時のクラスターの選択方法

「ネットワーク設定」モード中、ネットワークのコピーまたはペーストを目的にクラスターを選択する際は、

- Ctrlキーを押下しながらマウスでクラスターをクリックする
- マウスドラッグの範囲選択で対象としたいクラスターを囲む

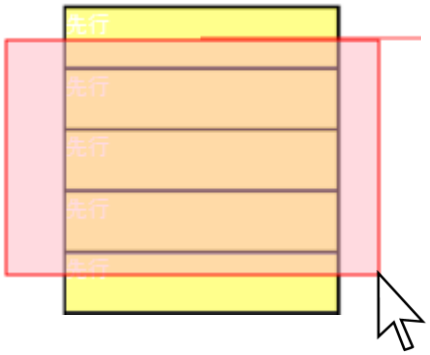
いずれかの方法で選択して下さい。（通常のマウスクリックでクラスターを選択した場合、ネットワーク設定を行うモードになるため）

Ctrlキーを押下しながら
マウスでクリック



または

マウスドラッグの
範囲選択で囲む

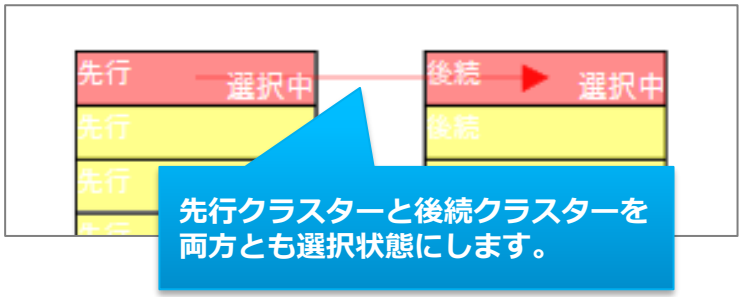


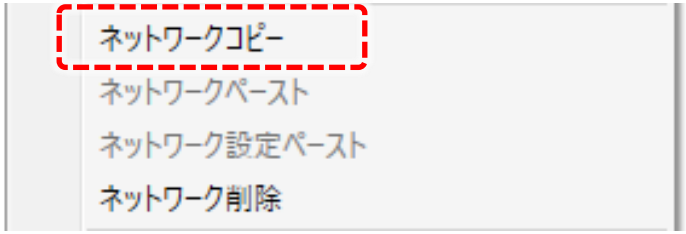
© CIMTOPS Corporation.

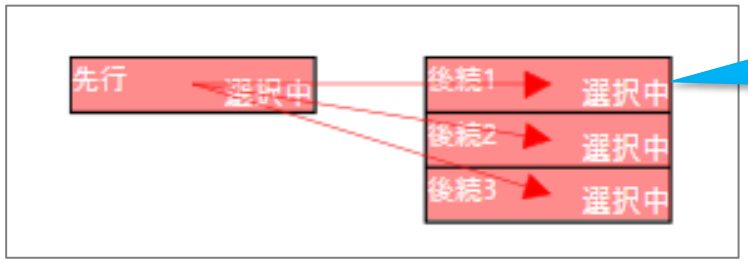
ネットワークコピー

ネットワーク設定のコピーを行います。

- コピーしたいネットワーク設定の先行クラスターと後続クラスターの両方を選択状態にします。
  マウスのドラッグ操作による範囲選択、または、Ctrlキーを押下しながらのクリックにより
  クラスターを選択状態にすることができます。
- コピー時に選択状態にするクラスターのクラスター名称は全て異なるものである必要があります。
- 複数のネットワークを同時にコピーすることも可能です。
- コピーした情報は「ネットワークペースト」と「ネットワーク設定ペースト」で使用できます。







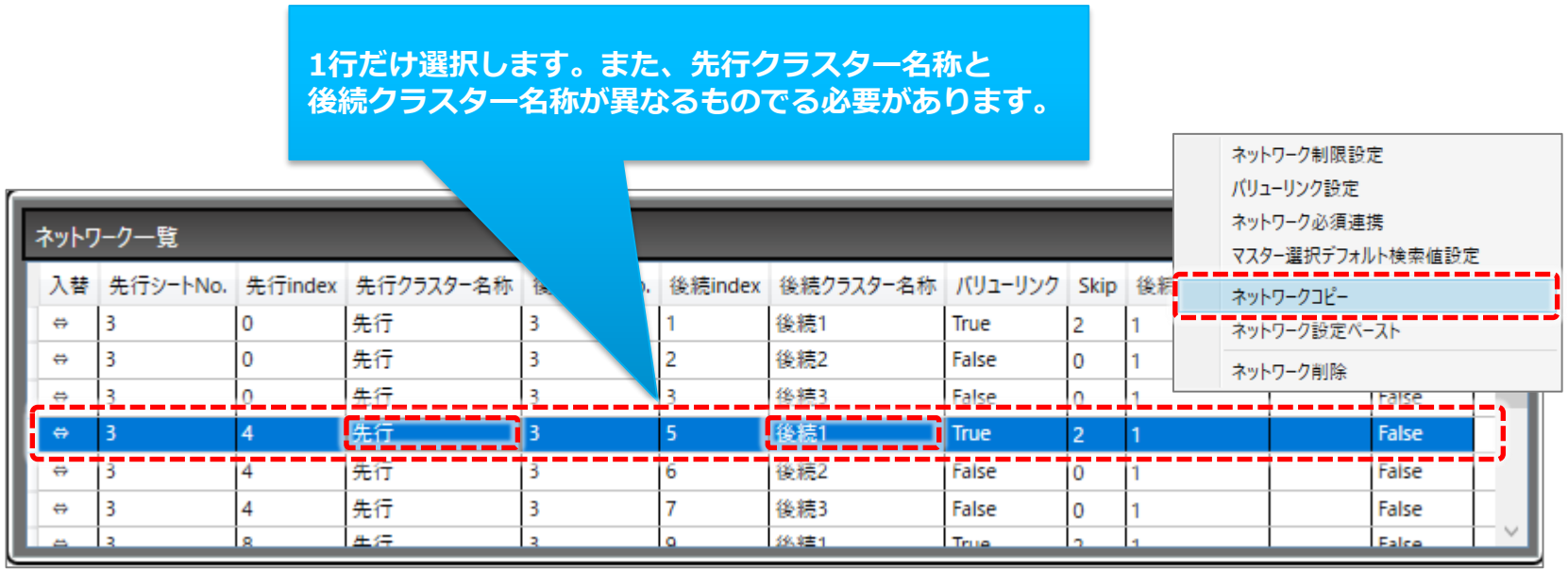
複数のネットワークを同時にコピーすることも可能です。ただし、選択状態にあるクラスターは全て異なるクラスター名称である必要があります。

© CIMTOPS Corporation.

ネットワーク一覧からのネットワークコピー

「ネットワーク一覧」から1行だけ選択した状態で、右クリックメニューの「ネットワークコピー」を実行することができます。単体のネットワークコピーではありますが、これにより編集画面上でクラスターを選択する手間が省け、また、シートを跨いだネットワーク設定のコピーが行えます。

- 通常のネットワークコピーと同様、コピー時に選択にするネットワーク情報の先行クラスターと後続クラスターのクラスター名称は異なるものである必要があります。



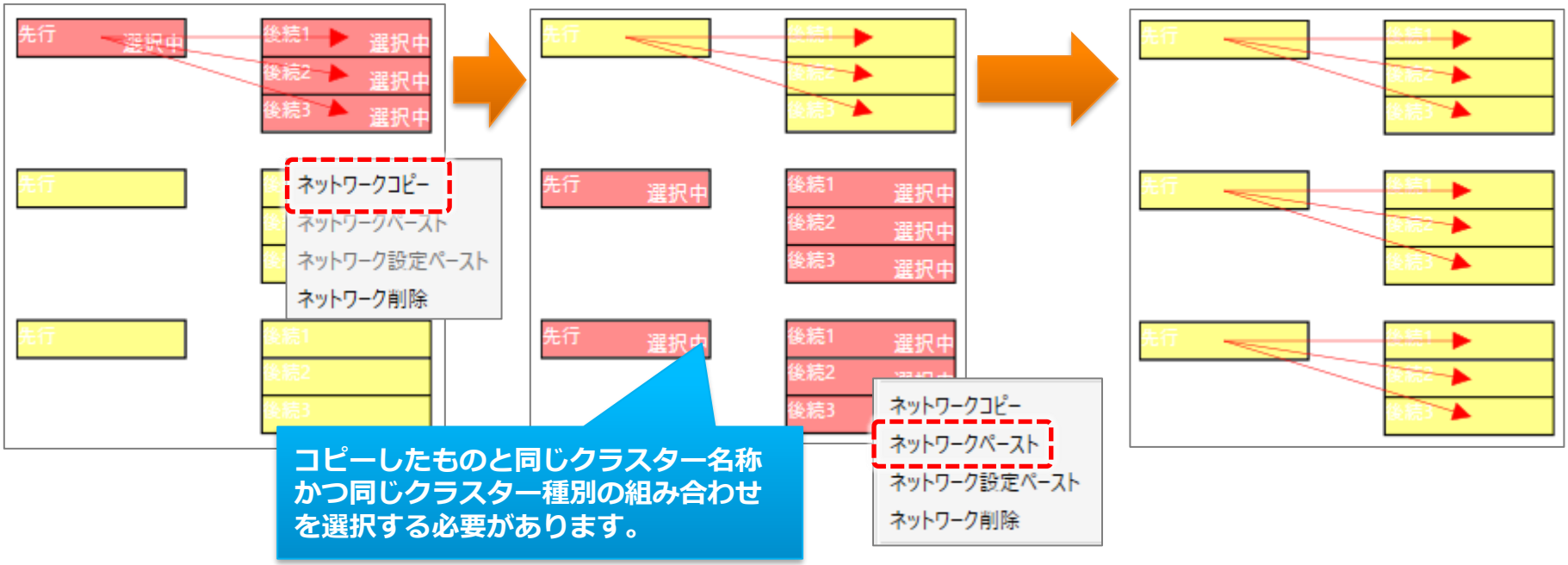
© CIMTOPS Corporation.

ネットワークペースト

コピーしたネットワーク設定を、ネットワーク未設定のクラスターに対してペーストします。

- 先行クラスターにしたいクラスターと後続クラスターにしたいクラスターの両方を選択状態にします。
- 選択状態にしたクラスターは全てネットワークが未設定のクラスターである必要があります。
- ネットワークコピーした際に選択していたクラスターと、同じクラスター名称かつ同じクラスター種別のクラスターの組み合わせに対してネットワークがペーストされます。

  ※同じクラスター名称のクラスターを作成するには、
  ConMas Designerの設定「クラスター名称の一意制約チェック」が【制約なし】である必要があります
- 複数のクラスターに対して同時にネットワークペーストすることも可能です。
- ネットワークペースト実行後はクラスター名称を変更して頂いても差支えありません。

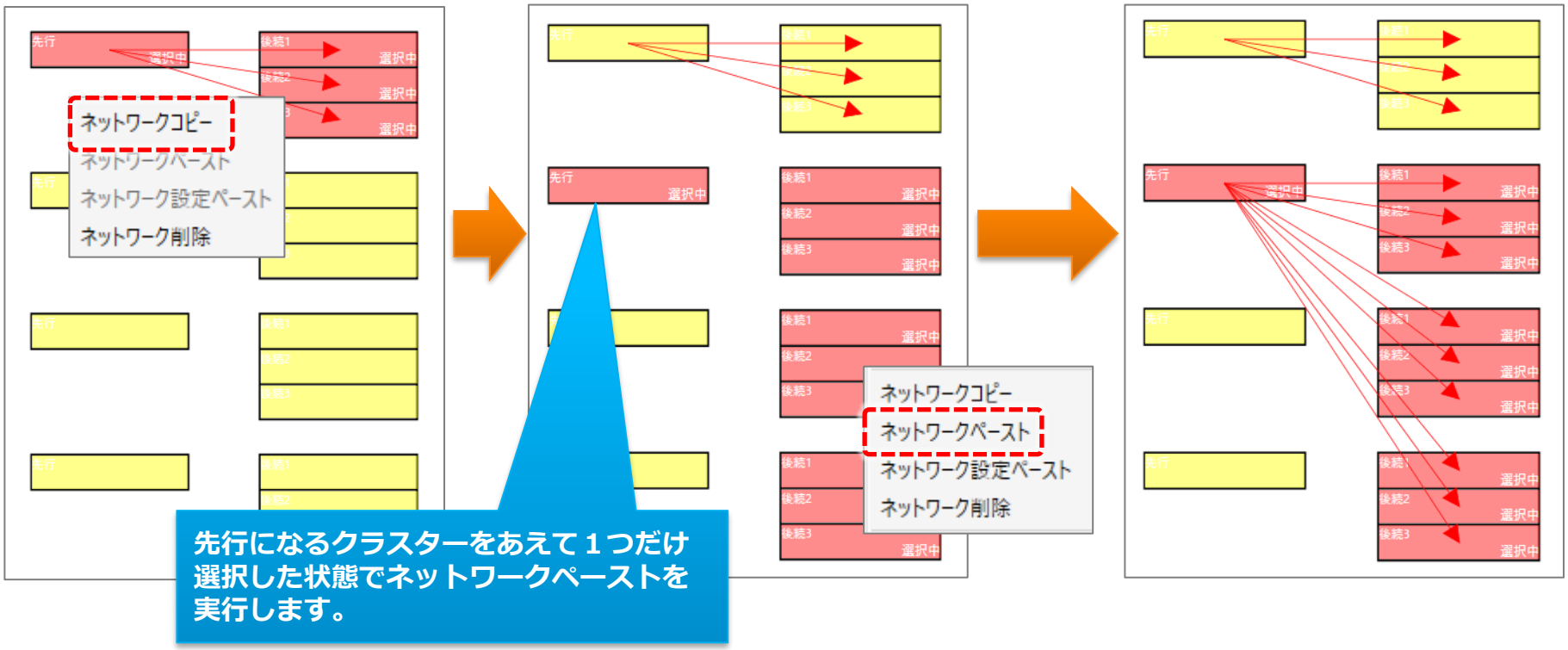


© CIMTOPS Corporation.

ネットワークペースト（先行または後続クラスターが１つの場合）

ネットワークペースト時に選択している、先行または後続クラスターが１つの場合、そのクラスターに繋がる複数のネットワークを一括してペーストすることができます。

- ペースト条件は、先行または後続となるクラスターが１つだけ選択された状態であること以外は、通常のネットワークペーストと同じです。

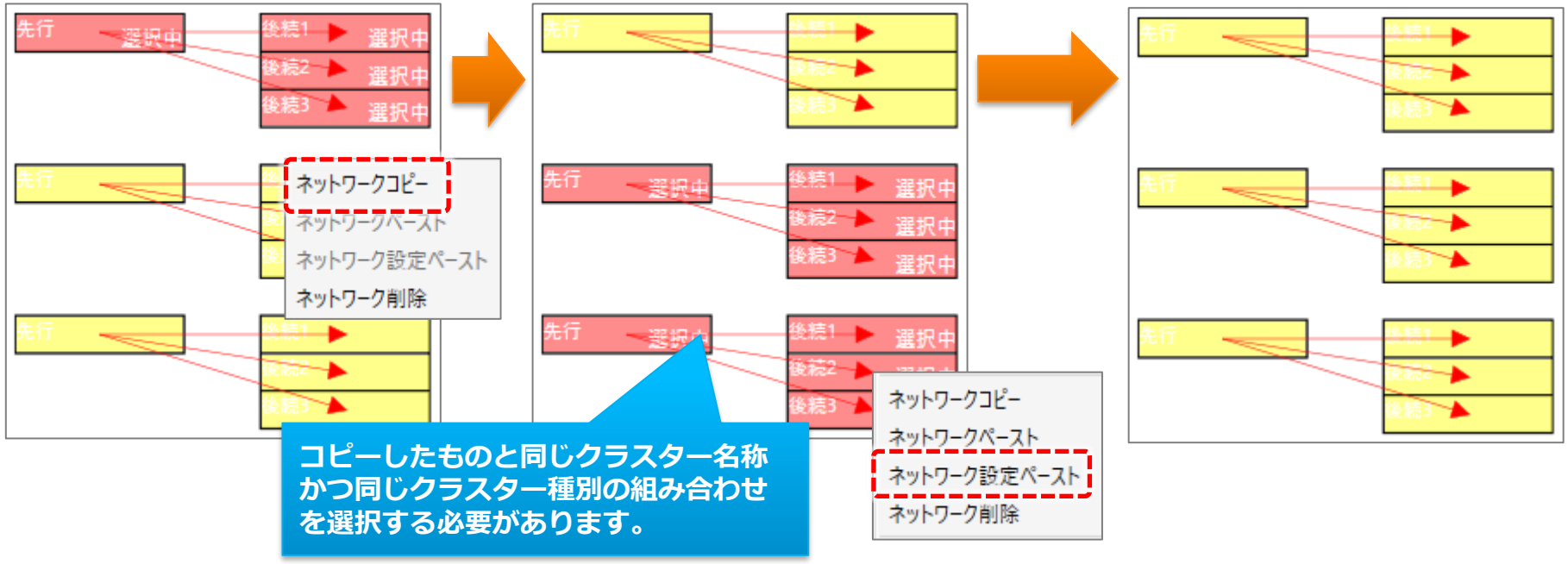


© CIMTOPS Corporation.

ネットワーク設定ペースト

既にネットワーク設定されたクラスターに対してネットワーク設定だけをペーストします。

- まだネットワーク設定されていないクラスターに対してネットワークをペーストしたい場合は先述の「ネットワークペースト」を使用して下さい。
- 既にネットワーク設定されているクラスターに対してネットワークの設定をペーストしたい場合にこの「ネットワーク設定ペースト」を使用します。「ネットワークペースト」と異なるのはこの点だけで、「ネットワーク設定ペースト」を行うための条件と手順は「ネットワークペースト」と同様です。



© CIMTOPS Corporation.

ネットワーク一覧からのネットワーク設定ペースト

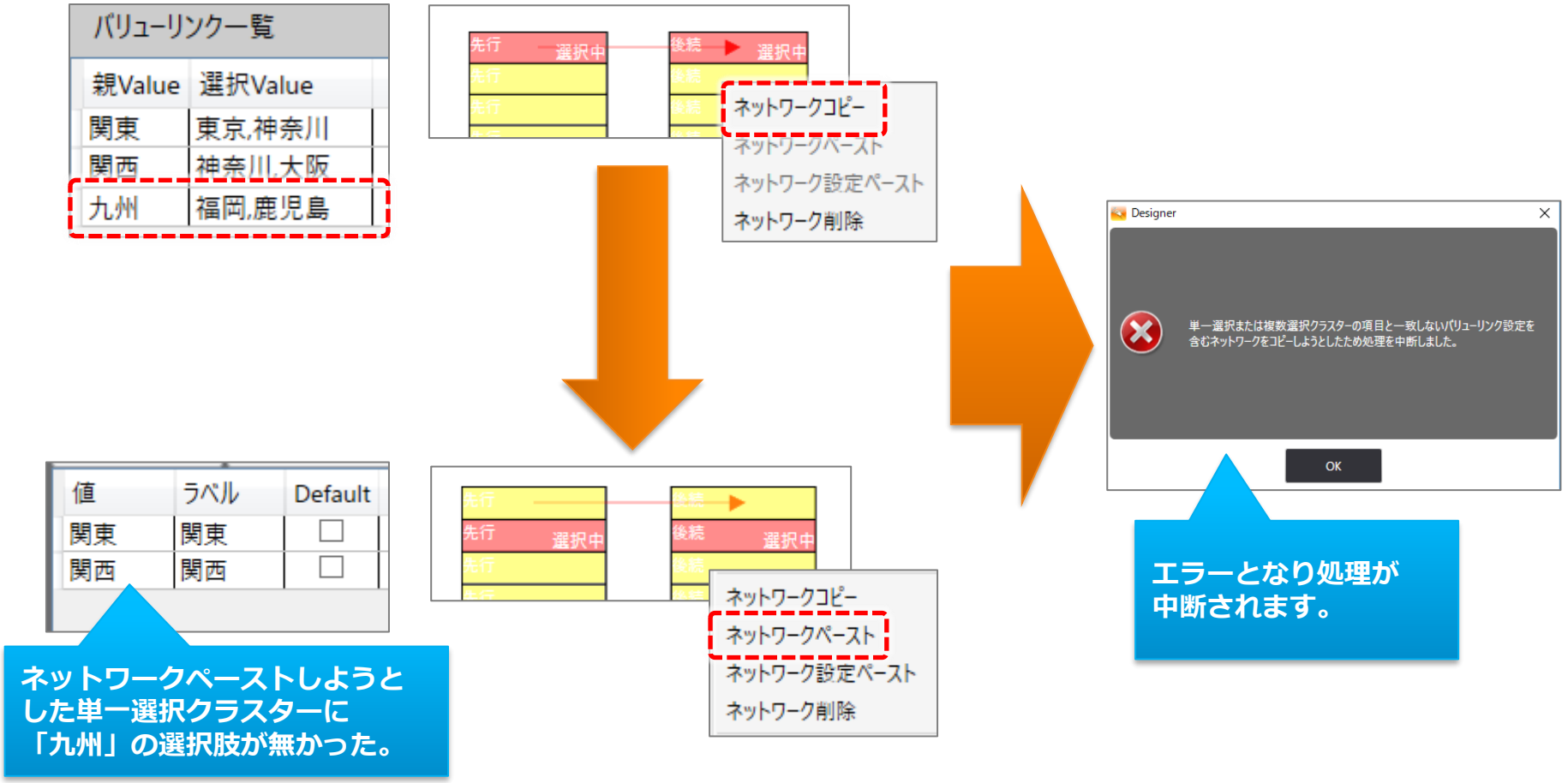
「ネットワーク一覧」から複数行選択し、右クリックメニューの「ネットワーク設定ペースト」を実行することができます。これにより編集画面上でクラスターを選択する手間が省け、また、シートを跨いだネットワーク設定ペーストが行えます。

- ネットワーク一覧上でのネットワーク設定ペーストを行うための条件は、通常のネットワーク設定コピーと同一です。

© CIMTOPS Corporation.

バリューリンク設定を含むネットワークペースト/設定ペースト

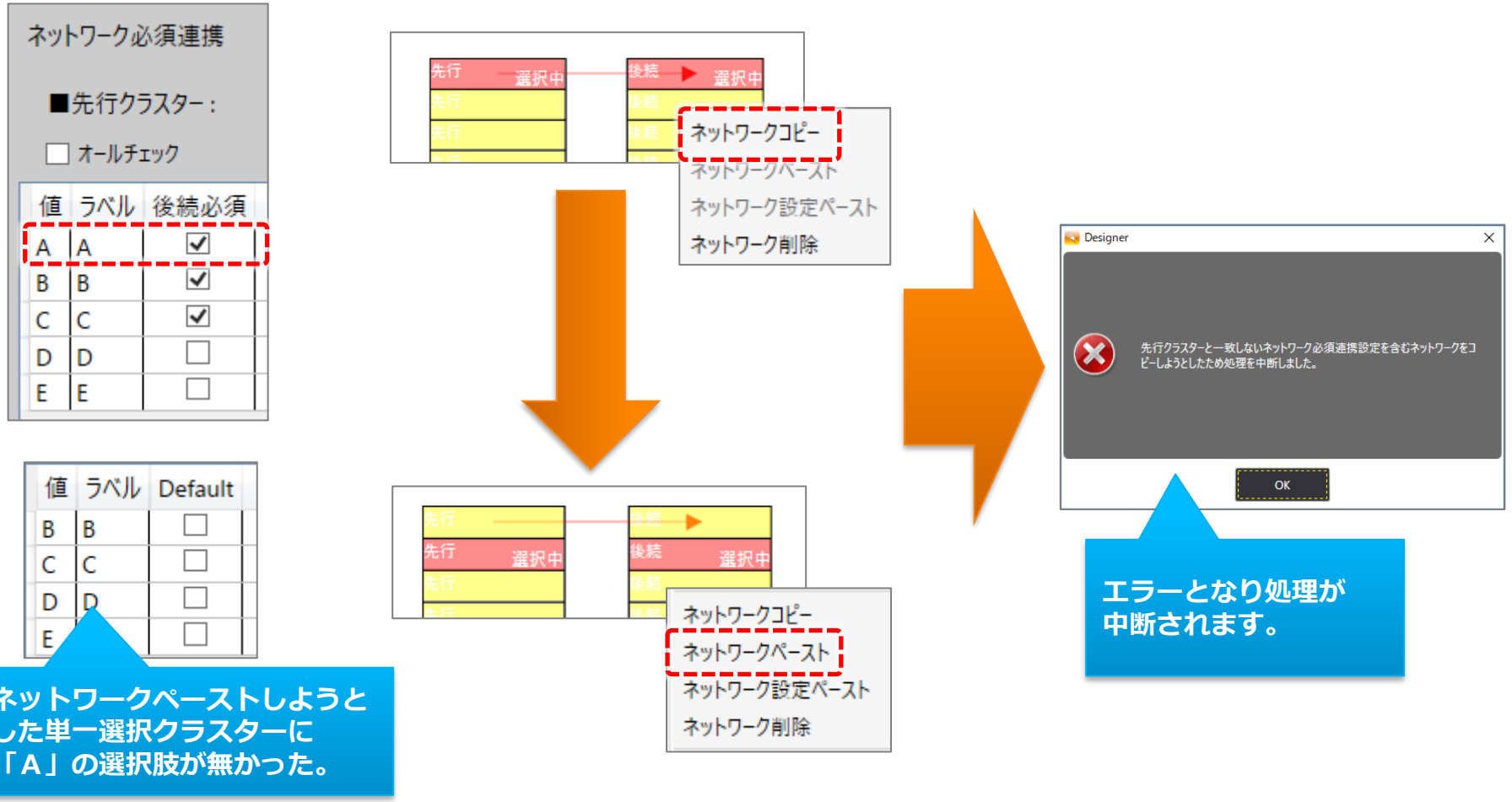
バリューリンク設定に関わる選択肢が存在しないクラスターへネットワークペーストまたはネットワーク設定ペーストしようとした場合、エラーメッセージが表示されペースト処理が中断されます。



© CIMTOPS Corporation.

ネットワーク必須連携設定を含むネットワークペースト/設定ペースト

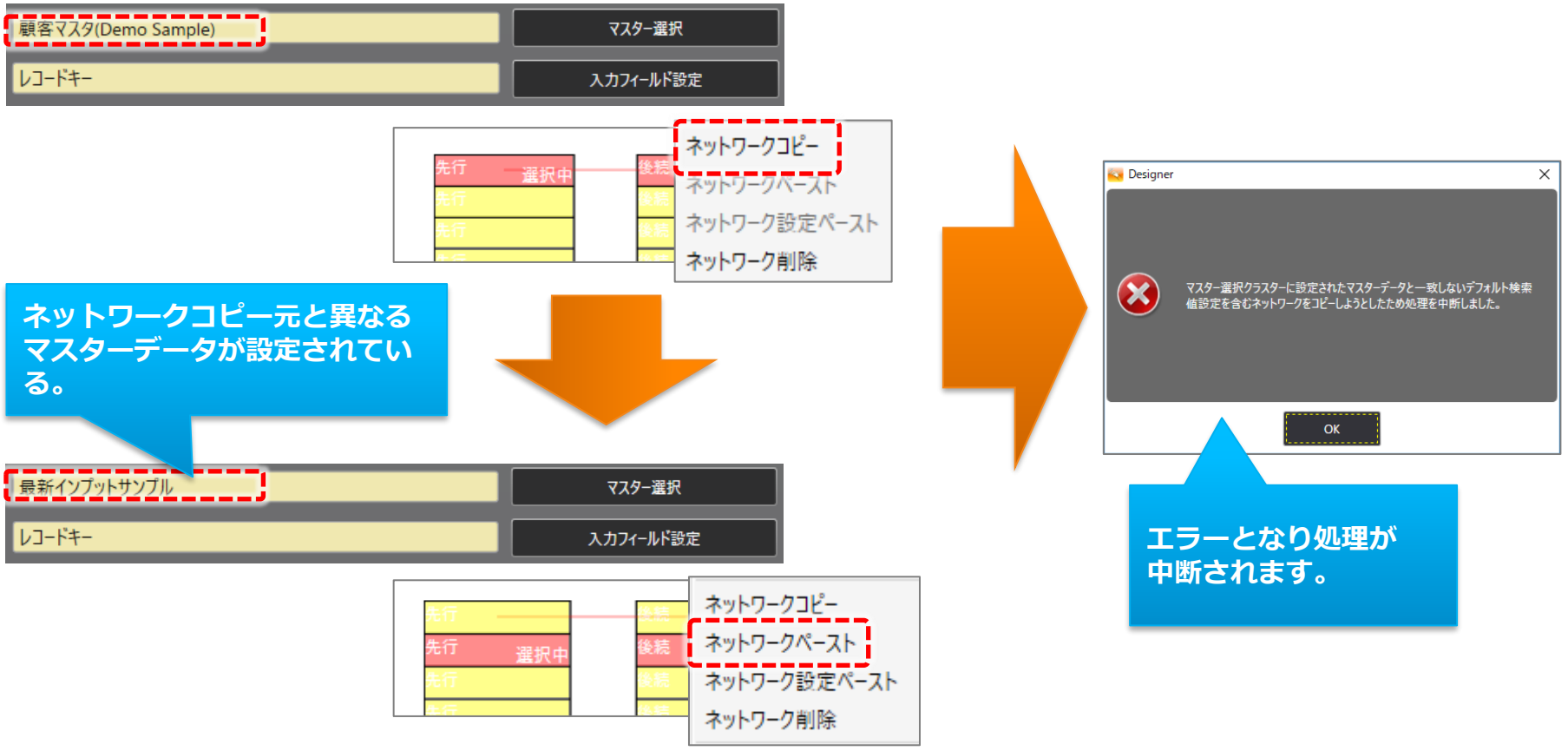
ネットワーク必須設定に関わる選択肢が存在しないクラスターへネットワークペーストまたはネットワーク設定ペーストしようとした場合、エラーメッセージが表示されペースト処理が中断されます。



© CIMTOPS Corporation.

マスター選択デフォルト検索値設定を含むネットワークペースト/設定ペースト

マスター選択デフォルト検索値の設定を行ったマスターデータと異なるマスターが設定されたマスター選択クラスターへネットワークペーストまたはネットワーク設定ペーストしようとした場合、エラーメッセージが表示されペースト処理が中断されます。

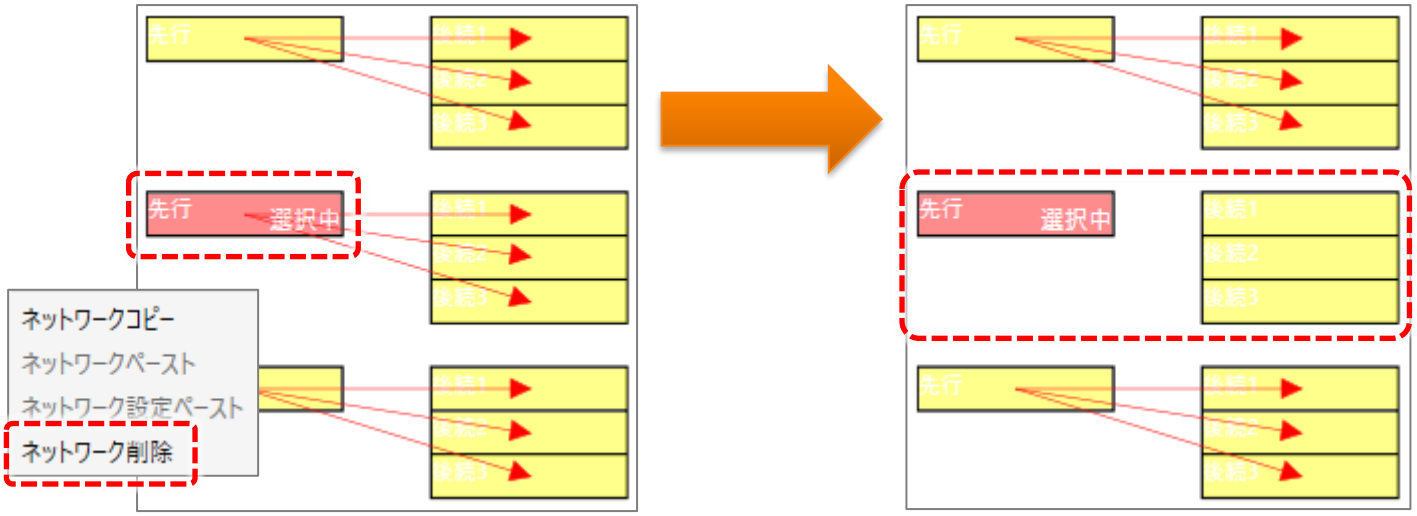


© CIMTOPS Corporation.

ネットワーク削除

編集画面上で選択したクラスターに関連するネットワークを削除します。

- ネットワーク一覧グリッド上でもネットワークの削除は行えますが、こちらを利用することで、編集画面上でクラスターの選択を行い、そのクラスターに関連するネットワークの削除を右クリックメニューから行うことができます。
- ネットワークペーストで設定の間違いにより意図しないネットワークが作成された際などにご利用頂くと便利です。
- 選択したクラスターに関連するネットワークは全て削除されます。
- 先行クラスターだけ、または、後続クラスターだけ選択した状態でも削除が行えます。このため、シートを跨いだネットワークであっても削除することができます。

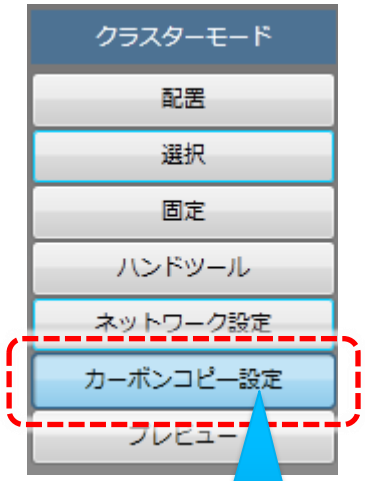


© CIMTOPS Corporation.

カーボンコピーの設定

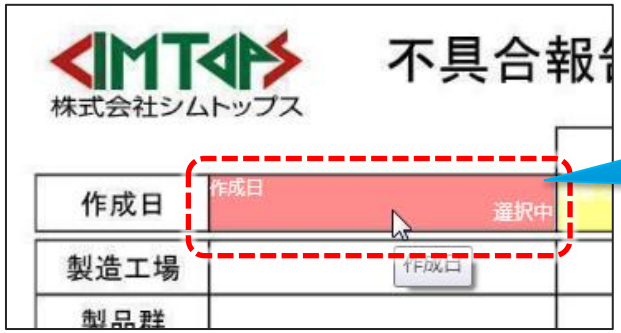
複写帳票のように入力値を別のクラスターにもコピーできます

- カーボンコピー設定では、あるクラスターに記入した値を、別のクラスターにも自動的に記入することができ、複写式帳票・伝票と同じ使い方ができます。紙では重なった同じ場所にしか複写できませんが、カーボンコピー設定では別の場所や、同じ紙面上でも複写させることができます。



[クラスターモード]の、[カーボンコピー設定]を選択します。

コピー元となるクラスターを選択します。クリックするとクラスターの右下に「選択中」と表示されます。ここで選択したクラスターにiPad上で入力した値が、コピー先クラスターに自動入力されます。



シート1の「作成日」クラスターをクリック

ここでは、2枚目のシートの「作成日」をコピー先に設定することにします。

© CIMTOPS Corporation.

カーボンコピーの設定

- [シート一覧]で2枚目をダブルクリックします。編集画面の帳票画像やクラスターが2枚目の内容に変わります。
- コピー先クラスターを選択します。クリックした時点で、「カーボンコピー先クラスターとして設定しますか？」とダイアログが表示されるので、「はい」を選択します。これで、シート1の「作成日」クラスターに日付が入ると、シート2にも同じ値が入力されます。
- なお、カーボンコピー元と先は同じクラスター種別である必要があります。カスタムマスター設定など既に他の設定が行われているクラスターにはカーボンコピー設定はできません。

© CIMTOPS Corporation.

カーボンコピーの設定

- [カーボンコピー設定]を選択中はクラスター一覧が「カーボンコピー一覧」に変化しています。上記の設定後に一覧に新しい行が追加されます。

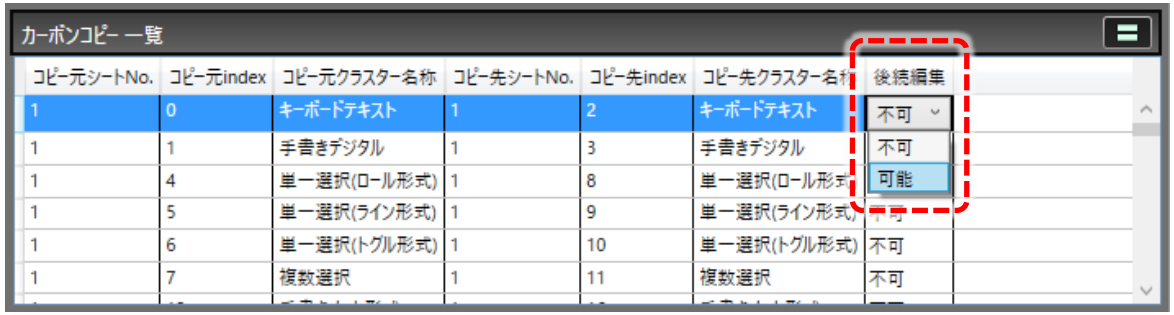
- 任意の行で右クリックメニューから、カーボンコピー設定を削除できます。
  複数行を選択して一括削除することもできます。

※帳票登録者、帳票登録年月日、帳票更新者、帳票更新年月日、GPS位置情報、アクション、ピン打ち関連のクラスターはカーボンコピー設定対象外のクラスター種別となります。計算式クラスターをカーボンコピー設定した場合は、カーボンコピー先の計算式がカーボンコピー元の計算式に上書きされ削除されますのでご注意下さい。

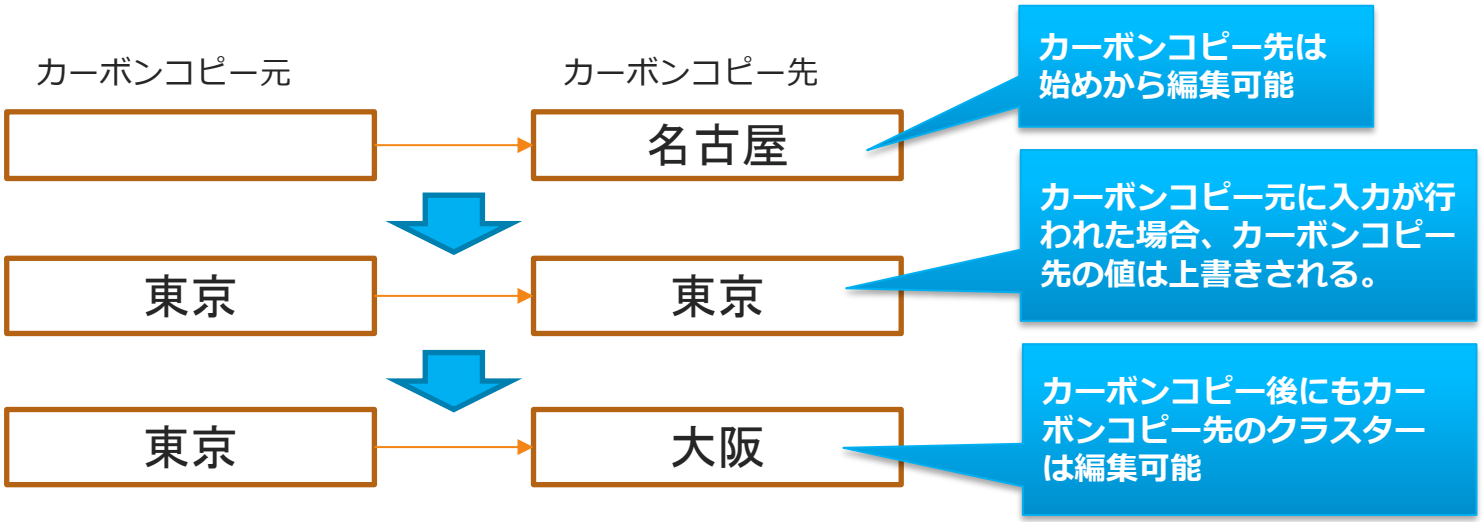
© CIMTOPS Corporation.

カーボンコピー先の編集可否

- カーボンコピー先となるクラスターの編集可否を「カーボンコピー一覧」の「後続編集」項目から設定することができます。



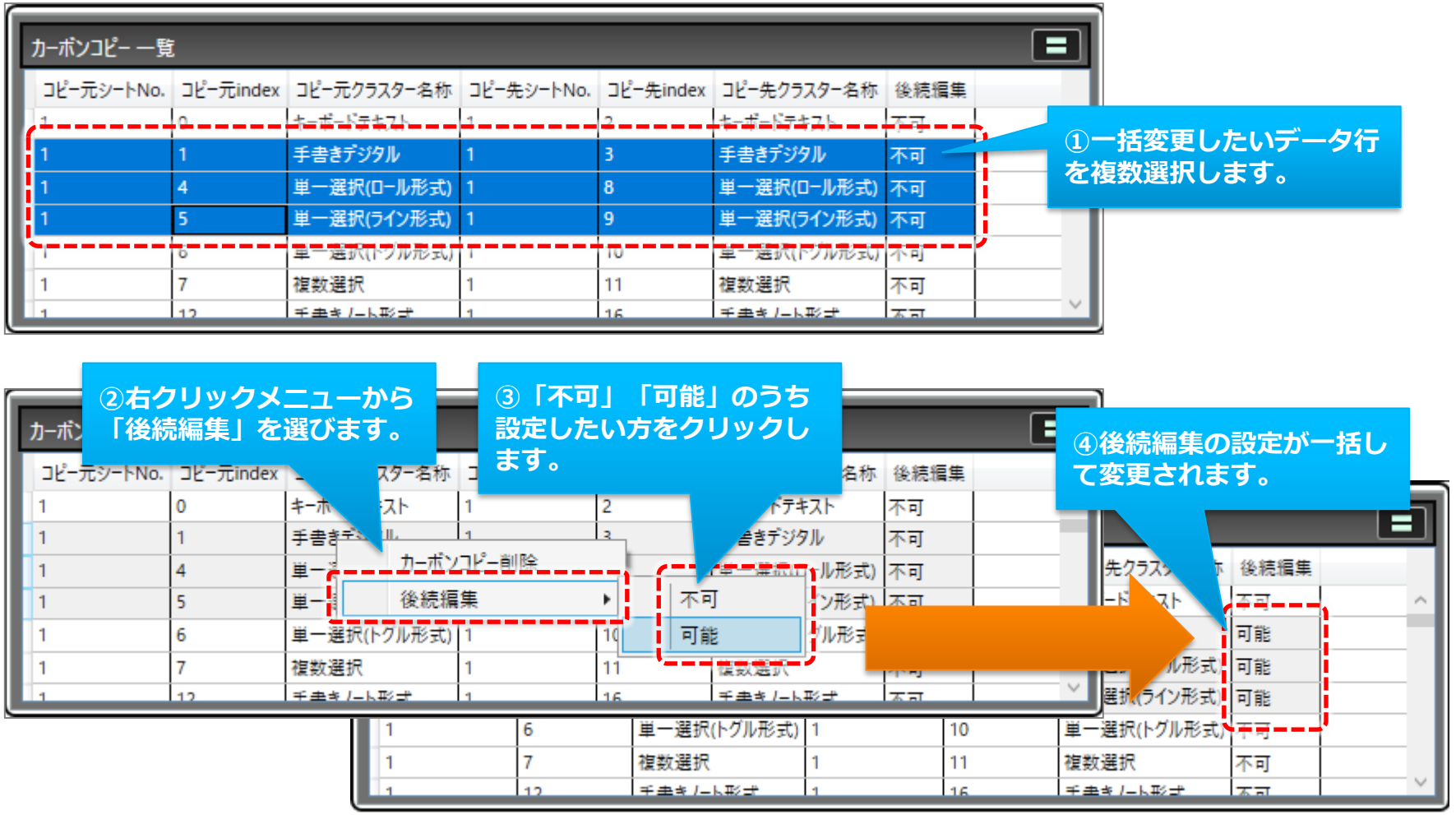
- こちらを編集可能に設定した場合、カーボンコピーを実行した後でカーボンコピー先のクラスターの値を編集する事ができるようになります。この際、カーボンコピー先のクラスターは始めから編集可能な状態で帳票が作成されます。
- また、先にカーボンコピー先のクラスターに入力を行ってからカーボンコピーを実行した場合、値を上書きしてカーボンコピーが実行されます。



© CIMTOPS Corporation.

カーボンコピー先の編集可否の一括変更

- カーボンコピー一覧から編集可否を一括して変更したいデータを複数選択し（Ctrlキーを押下しながらデータ行をクリックすることで連続していないデータ行を複数選択することも可能です）
  右クリックメニューから「後続編集」を選び、「不可」「可能」から設定したい方をクリックします。

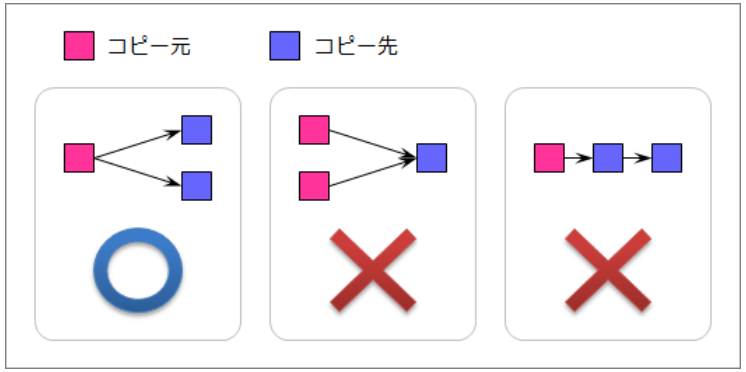


© CIMTOPS Corporation.

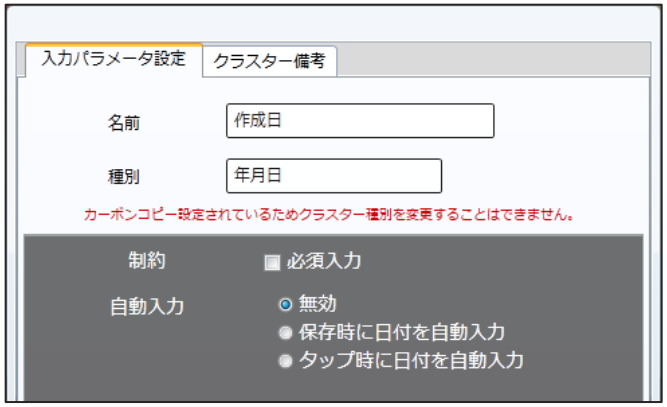
カーボンコピーの制限

1．コピー先の指定と、クラスター種別の変更に制限があります

- カーボンコピー設定では、例えば1枚目の記入内容を2枚目、3枚目…と反映するような、コピー元が複数のコピー先を持つ1対多の設定が可能です。多対1、連鎖的なコピーは設定できません。



- カーボンコピーを設定したクラスターは、種別の変更ができません。変更する場合は一度カーボンコピーを削除し、コピー元とコピー先のそれぞれを変更後、再度設定してください。



© CIMTOPS Corporation.

カーボンコピーの制限

2．カーボンコピーが動作するタイミング

- カーボンコピーは、コピー元のクラスターの値に変動があったときに動作します。
  入力前帳票および帳票コピー機能で作成した帳票に、予めカーボンコピー元に値を入れていても、
  帳票を開いた時点ではコピー元クラスターの値は変動しない（※）ので、
  カーボンコピーは動作しません。
  ※自動入力設定をしているクラスターを除く。
  ▼自動入力設定ができるクラスター
  - 年月日、カレンダー年月日、時刻

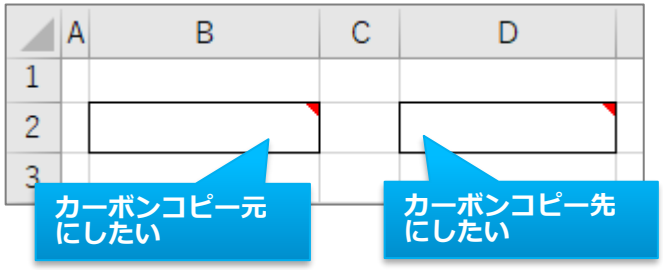
  カーボンコピー先にも予め値を入れた状態で帳票を開きたい場合は、
  入力前帳票作成時、および帳票コピーの設定で、カーボンコピー先にも値が入るように
  設定してください。

© CIMTOPS Corporation.

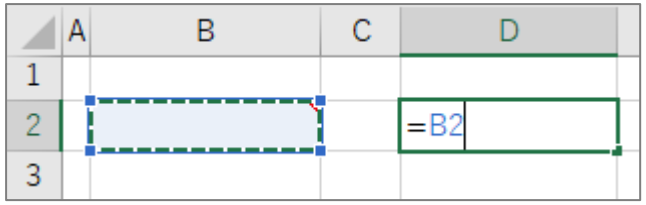
計算式を利用したEXCELファイル上でのカーボンコピー設定

計算式を利用してEXCELファイル上でカーボンコピー設定を行うことができます

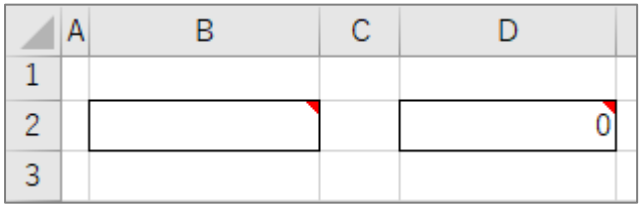
- 下記の手順でEXCELファイル上で予めカーボンコピー設定を行うことができます。カーボンコピー設定は該当のEXCELファイルをDesignerへ取込むことで自動設定されます。計算式を用いる設定方法のため、こちらの方法では計算式クラスター、時刻計算クラスターのカーボンコピー設定はできません。



カーボンコピー元と先は同じクラスター種別である必要があり、カーボンコピー先となるクラスターはカスタムマスター設定など他の設定が行われていない状態でなければなりません。つまり、カーボンコピー設定が可能な状態である必要があります。
（カーボンコピー元と先は異なるシート間でも可）



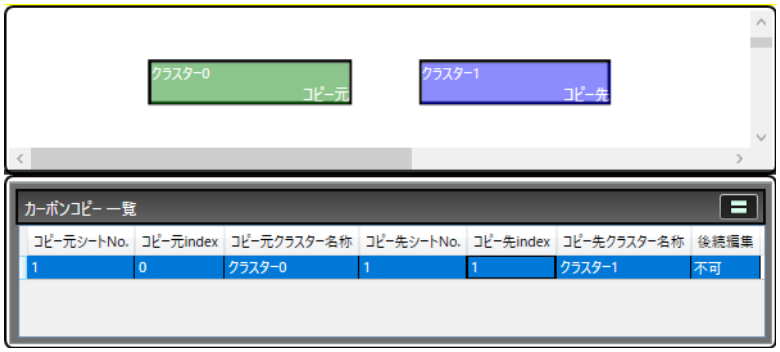
カーボンコピー先となるセルに対して計算式を記述します。計算式は、カーボンコピー元のセルをイコールで指定した形にします。
（四則演算・EXCEL関数などは使用できません）
（Designer取込み時にこの計算式は削除されます）



計算式を設定するためEXCELファイル上ではカーボンコピー先となるセルに「0」などの計算結果が表示された状態になりますが、Designer取込み時にこの計算式は削除されますのでこの状態で問題ありません。

© CIMTOPS Corporation.

計算式を利用したEXCELファイル上でのカーボンコピー設定



Designerへ取り込むと自動的にカーボンコピー設定が作成されます。

Designerへ取込みした際にカーボンコピー設定の自動作成に失敗した場合、失敗したセルの位置と失敗原因の一覧がエラーメッセージとして表示されます。

こちらのメッセージに表示された箇所のカーボンコピー設定は作成されていませんのでご注意下さい。

© CIMTOPS Corporation.

クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー

以下の方法は、PDFファイル、または、画像を元に帳票定義を作成した場合に有効な方法となります。
EXCELファイルから帳票定義を作成した場合は、Designer上でコピーしたクラスターは次回EXCEL定義出力時に削除されるため、以下の方法は推奨されません。

ネットワーク・カーボンコピー情報のコピー

- クラスターのコピーを実施した際に、ネットワーク・カーボンコピー情報も一緒にコピーすることができます。
- 「ペースト」を選択すればネットワーク・カーボンコピー情報も一緒にコピーされます。
  「クラスターのみペースト」を選択すれば従来通りクラスター情報のみをコピーします。

- ペースト
  ネットワーク情報とカーボンコピー情報も一緒に貼り付け。

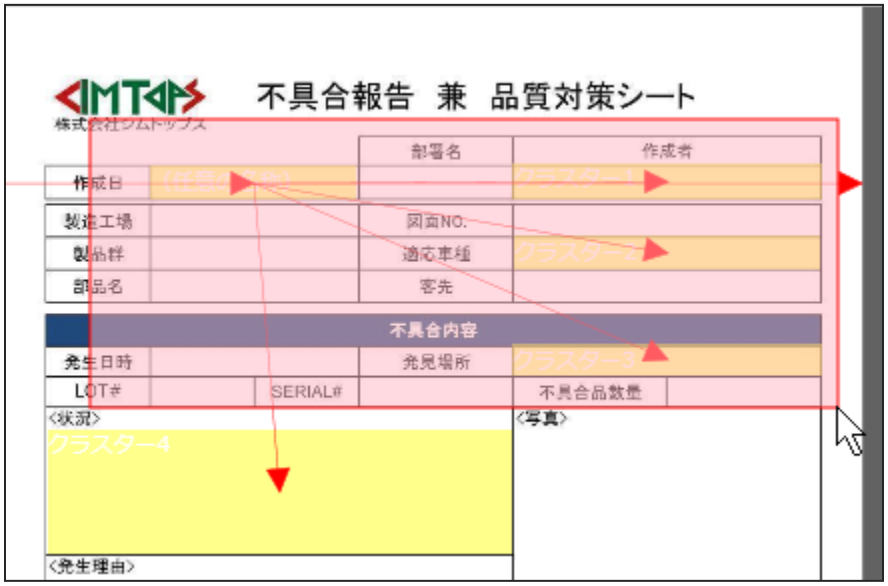
- クラスターのみペースト
  クラスター情報のみを貼り付け。
  （従来の仕様と同一）

© CIMTOPS Corporation.

クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー

ネットワーク・カーボンコピー情報のコピー

- また、ネットワーク線を確認しながらコピー可能とするため、
「ネットワーク設定」モード中でも範囲選択による複数クラスター選択と
Ctrlキーを押下しながらの複数クラスター選択を可能としました。
また、右クリックメニューの「コピー」のみ実施可能となります。
（ペーストは「配置モード」「選択モード」で実施する必要があります）

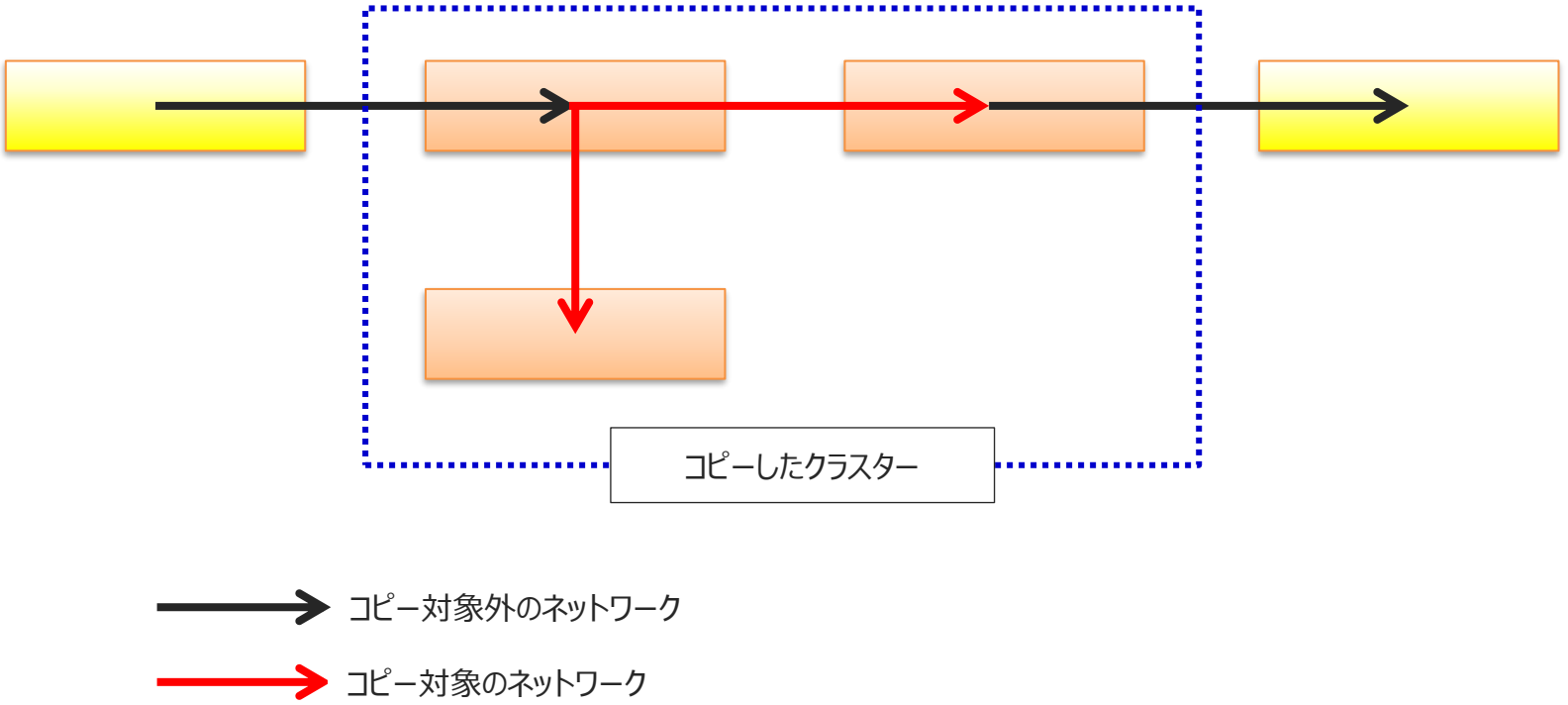


© CIMTOPS Corporation.

クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー

ネットワーク情報のコピー

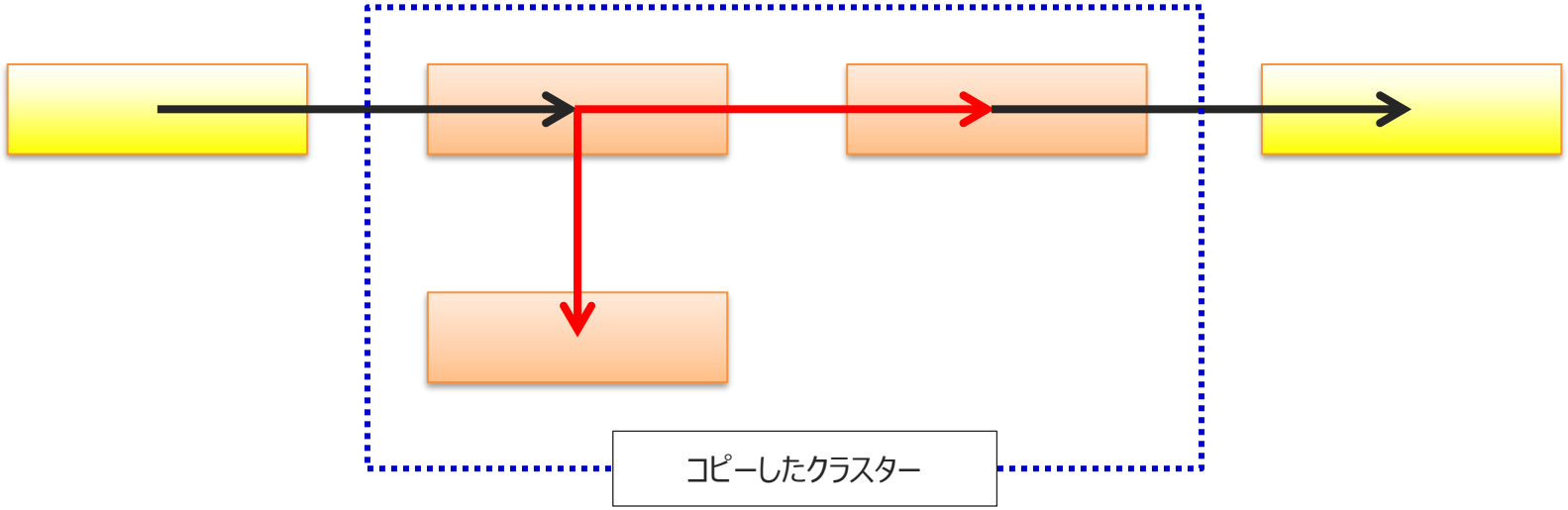
- ネットワーク情報のコピーは、先行クラスターと後続クラスターが両方とも指定された場合に限り
  コピー対象となります。
  なお、ネットワークに関する設定はすべてコピーされます。（バリューリンク、ネットワーク制限）



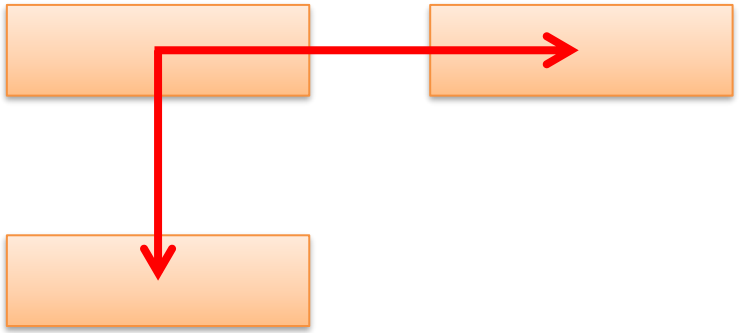
© CIMTOPS Corporation.

クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー

ネットワーク情報のコピー



ペーストした場合

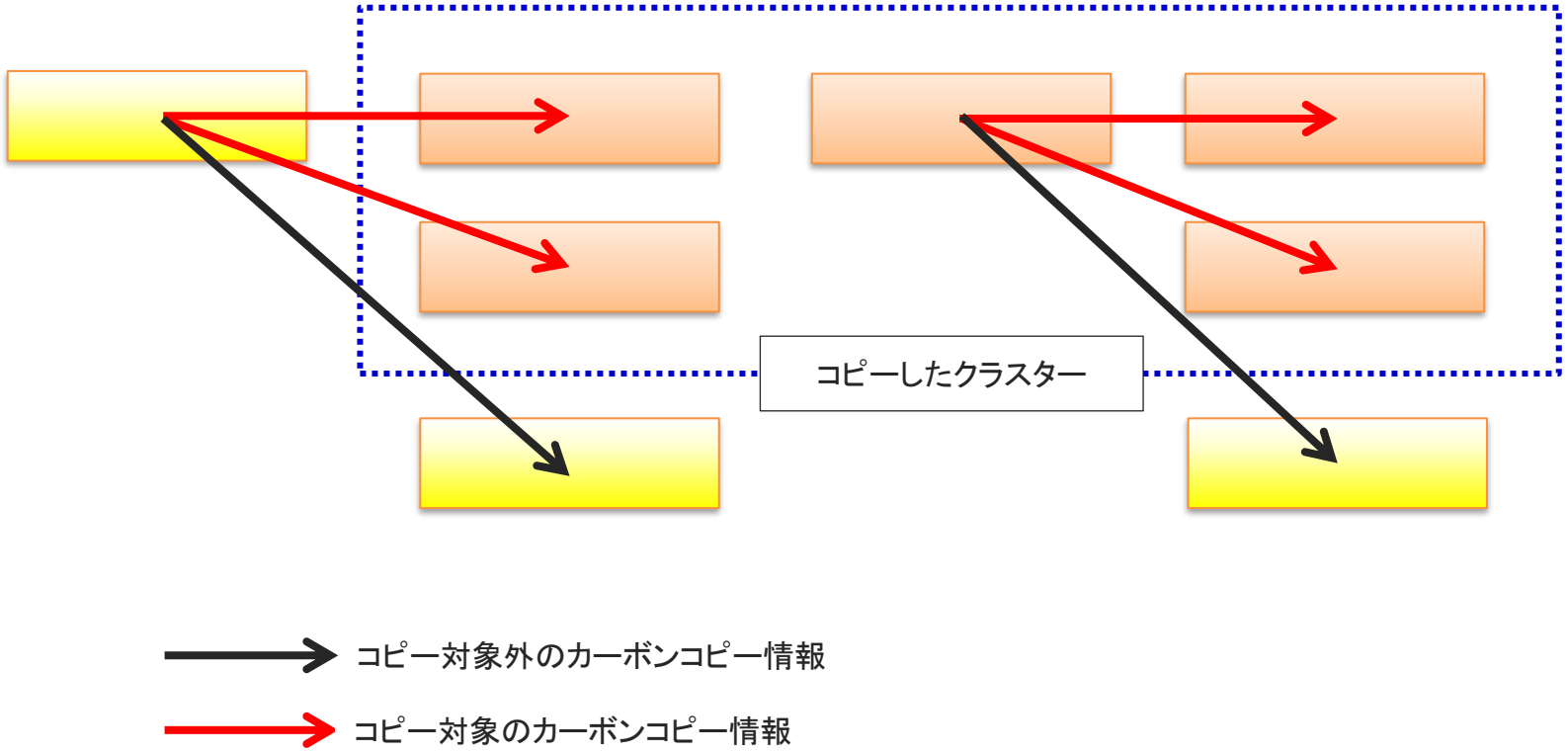


© CIMTOPS Corporation.

クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー

カーボンコピー情報のコピー

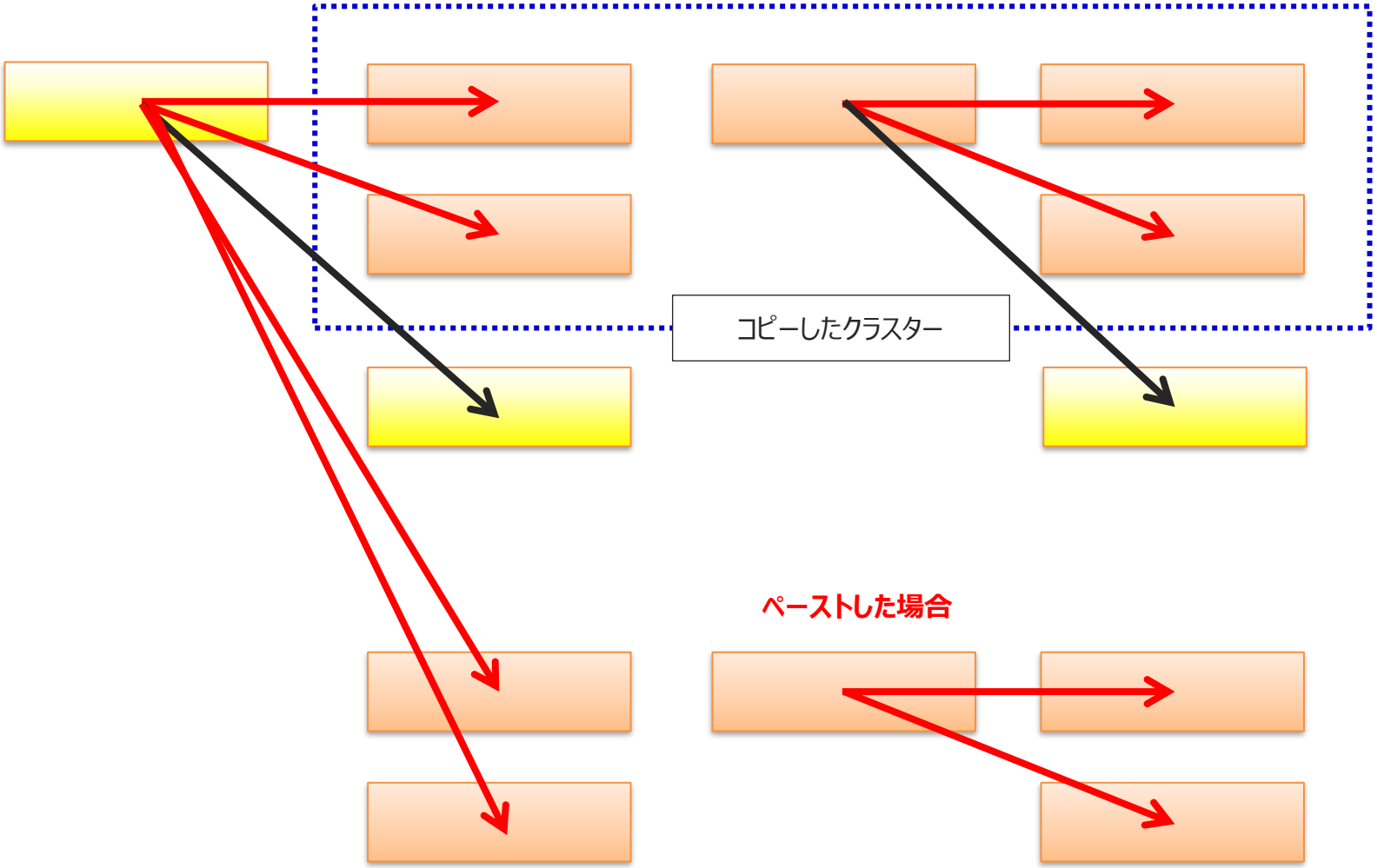
- カーボンコピー情報のコピーは、コピー元とコピー先のクラスターが両方とも指定された場合、または、コピー先クラスターが指定された場合に、コピー対象となります。



© CIMTOPS Corporation.

クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー

カーボンコピー情報のコピー



© CIMTOPS Corporation.